

**FILE No. 17**  
**環境清掃部**

ファイルは全22ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1-1**にあります。  
評価結果の一覧は、**FILE No. 1-1、1-2の各課総括表**をご覧ください。  
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

1 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
環境課	39		わがまちクリーン大作戦(21世紀プロジェクト)
	625		環境部一般管理
	626		環境保全対策の推進
	627	1	環境行動指針の策定
	627	2	ISO14001の推進
	628		空き缶・吸殻投げ捨て防止対策
	629		環境美化推進員
	630		あき地等の管理指導
	631		環境審議会運営
	641		ねずみ・昆虫駆除
	642		病虫害防除
	665		公害監視、調査、指導
	666		苦情処理、相談
	667		公害防止意識の啓発
	668		フロン回収
	669		自動車排出ガス測定
	670		交通騒音振動測定
	671		鉄道騒音振動測定
	672		大気汚染常時測定
	673		河川水質測定
	674		光化学スモッグ対策
	675		冬期自動車交通量対策
676		自然保護の啓発	
677		生き物アンケート調査	

**次のページへ**

清掃管理課 / リサイクル清掃課

**次の次のページへ**

西清掃事務所 / 東清掃事務所 / 清掃事業所

**FILE No. 17**  
**環境清掃部**

ファイルは全22ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1-1**にあります。  
 評価結果の一覧は、**FILE No. 1-1、1-2**の各課総括表をご覧ください。  
 ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

2 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
清掃管理課	678		総務管理
	679		清掃審議会の運営
	680		一般廃棄物処理計画の策定
	681		清掃関係表彰
	682		一般普及・広報
	686		交通安全対策・安全管理
	700		一部事務組合等負担金
リサイクル清掃課	632		リサイクルの啓発
	634		コンポスト容器購入費助成事業
	635		生ごみ処理機購入費助成事業
	636		あき缶回収機の運営
	637		リサイクル協会運営
	638		集団回収事業
	639		リサイクルショップ維持管理
	640		リサイクルひろば高井戸維持管理
	684		指導管理(事業用大規模建築物への指導)
	685		ふれあい指導
	687		交通事故処理対策
	692		ペットボトル回収
	693		びん・缶・古紙回収
	694		特定家庭廃棄物モデル回収
	695		ごみ収集

[前のページへ](#)
[次のページへ](#)

環境課

西清掃事務所 / 東清掃事務所 / 清掃事業所

**FILE No. 17**  
**環境清掃部**

ファイルは全22ファイルあり、**評価表の見方はFILE No. 1-1**にあります。  
評価結果の一覧は、**FILE No. 1-1、1-2の各課総括表**をご覧ください。  
ご覧になりたい事業名をクリックすると該当事務事業の表にジャンプします。

3 / 3

担当課名	整理番号	細番号	事務事業名
西清掃事務所	683		清掃協力会
	688	1	清掃事務所維持運営
	689		杉並中継所維持運営
	696		不燃ごみ中継作業
	697		ごみ処理手数料徴収
	698		動物死体処理
東清掃事務所	688	2	東清掃事務所維持運営
	699		し尿・粗大中継車両雇上
清掃事業所	690		清掃事業所の施設、建物の維持管理
	691		清掃車両(ごみ収集車)の運行及び維持管理

**前のページへ**

清掃管理課 / リサイクル清掃課

**前の前のページへ**

環境課

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		わがまちクリーン大作戦（21世紀プロジェクト）				整理番号	39		細番号		
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先電話番号	4112		昨年度整理番号		
係名 庶務係					上位施策名				NO		
予算事業名 企画・調整					コード	5200		環境美化の推進		12	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 清潔で美しい杉並区をみんなで作る条例						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区内の公共の場及び公共施設等				(2)						
					(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 10月中の1週間を中心に、区内の団体・事業者・区民が自発的に参加し、区内の公共の場・公共施設等の清掃を行うことを支援する。				活動指標名(式)						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 区内の公共の場・公共施設等のごみを拾い、落書きをなくし、クリーンな状態にする。				成果指標名(式)						
				(1) (代)事業参加延べ人数							
				(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区内の公共の場・公共施設等をクリーンにし、清潔で美しい杉並区をみんなで作る条例の区民への浸透を図っていくことにより、環境美化の推進に寄与することができる。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		15年度			
指標	活動指標(1)		t			36	33				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		人			10,000	6,600	10,000	10,000	66.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			2,500	1,699	2,500			
	職員数(正規 非常勤)		人			0.25	0.28	0.15	特記事項 各課、各所の超勤分(日曜日分、含む)、清掃車の稼働はコスト計上されていない。		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	2,268	2,540	1,361			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	4,768	4,239	3,861			
	単位あたりコスト ÷		円				118,123	116,998			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	0	4,768	4,239	3,861				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年6月に区長から出された「世紀の大掃除」の提言以来、区内の団体・事業者の自発的な盛り上がりにより、延べ6,600名の区民が参加した。平成12年度で終了の認識が強かった事業だが、21世紀の初年度を迎え、再度実施することとなった。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		昨年度の参加者からは、クリーン作戦自体については概ね好感を得ている。ただし、単発のイベントとしてではない継続実施を望む意見も多い。また、執行体制については、区役所が事務局の役割を担うことを望む声がある。								
	今後の予測		環境課が事務局を担い、実施団体等から提案された各企画の調整を行いながら実施することで、まちのクリーン化運動の輪を広げていくことができる。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境部一般管理				整理番号	625		細番号			
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先電話番号	4112		昨年度整理番号	657		
係名		庶務係			上位施策名				NO			
予算事業名		環境部一般管理(庶務事務)		コード	54200	環境施策の総合的推進				13		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 5 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区組織条例							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 環境清掃部職員				(2) 杉並区職員の旅費に関する条例							
					(3) 職員標準事務取扱要綱							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順) 職務上必要な出張時の旅費等の費用弁償 業務上必要な事務用品類の購入				活動指標名(式)							
					(1) 延べ出勤数							
				(2)								
意図(対象をどのような状態にしたいのか) 環境清掃事業の円滑な運営				成果指標名(式)								
				(1)								
				(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区民の生活環境の向上												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度	年度				
指標	活動指標(1)	件	240	267	340	395	120,297					
	活動指標(2)	枚										
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,735	2,128	3,820	2,070	3,676					
	職員数(正規 非常勤)	人	1.50	1.50	1.50	1.50	1.50	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	13,610	13,610	13,610	13,610	13,610	平成12年度の活動指標については、出勤回数に伴う旅費との関係で、それまでの区民要望件数とした。しかし、平成12年度より定額旅費が廃止となり、一方清掃事務所の移管による職員増のため、一般管理費が増額した。13年度計画より、一般管理は職員が職務遂行する上での基礎的なものであるため、活動指標として職員の延べ勤務日数とした。 職員:405人(勤務を要する日 261日) 嘱託員:76人(同192日)			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	16,345	15,738	17,430	15,680	17,286					
	単位あたりコスト ÷	円	68,102	58,942	51,263	39,695	144					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	16,345	15,738	17,430	15,680	17,286						
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	組織改正による職員数の増減があり、特に12年度は清掃事業移管に伴い、職員数が大幅に増えた。超勤、旅費事務の確認事務が部の庶務に移された。超勤事務がシステム化された。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)											
	今後の予測	会議の種類が多様化し、回数はなお増加が予想される。情報量が増加し、電子複写機への機能依存は高まる。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境保全対策の推進				整理番号	626		細番号			
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	54400	連絡先電話番号	4112		昨年度整理番号	658		
係名 庶務係				上位施策名				NO				
予算事業名 環境保全の推進				環境施策の総合的推進				13				
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成			45 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有			平成 年度		(1) 杉並区環境基本条例						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			区民一人ひとりの環境問題に対する関心度		(2) 杉並区環境基本計画						
						(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 環境施策の報告と問題提起としての環境白書の発行。 環境保全意識の普及啓発の手段としての環境パネル展。 管理事務。 井草森公園周辺環境問題にかかる住民懇談会。					活動指標名(式) (1) 環境白書(平成11年度まで環境レポート)の発行部数 (2) パネル展開催数、貸出し回数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 環境問題への意識啓発及び高揚。					成果指標名(式) (1) (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 環境問題の解決に向けて、一人ひとりが行動を起こすきっかけとなる。												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	部	800	800	1,000	1,000	800					
	活動指標(2)	回	4	4	10	2	4					
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	2,710	2,598	2,592	2,072	1,891					
	職員数(正規 非常勤)	人	1.50	1.50	1.00	1.00	1.00	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	13,610	13,610	9,073	9,073	9,073	平成12年度はISOの推進に向け、区民・事業者用に環境行動指針作成費用等5,863千円を控除して計上。 平成13年度は、クリーン大作戦の推進2,500千円、環境学習の推進1,208千円、エコスタッフ制度954千円計4,662千円が新規に追加されている。クリーン大作戦については昨年度に引き続く事業として整理番号39に記載。			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	16,320	16,208	11,665	11,145	10,964					
	単位あたりコスト ÷	円	20,399	20,259	11,665	11,145	13,705					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -	千円	16,320	16,208	11,665	11,145	10,964						
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	環境・公害に対する区民の意識は時代の変化とともに大きく変わり、啓発内容を時代の変化に合わせて変えてきた。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	環境講座等により幅広い啓発活動や、区民の環境問題学習の場が求められている。また、平成11年度で中止したホテルの繁殖事業については、復活要望が強い。										
	今後の予測	環境の世紀にふさわしく、区民・事業者・行政に一層の環境配慮行動が求められている。また、生態系の復元に対する要望が強まると考えられる。(仮称)環境・リサイクルセンターを活動拠点とした環境ライブラリーの運営、環境学習リーダーの育成、子どもエコクラブ事務局の設置、環境学習教室等、区民との協働による事業が重要性を増してくるものと予測される。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境行動指針の策定				整理番号	627		細番号	1				
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	23106		連絡先電話番号	4113		昨年度整理番号				
係名 計画係				上位施策名				NO						
予算事業名 環境行動指針の策定				コード				環境配慮行動の推進				15		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有 平成 12年度				(1)									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民及び事業者				(2)									
					(3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 杉並区環境基本計画の中にある区民・事業者の役割と環境配慮行動を具体化し、区民・事業者がそれぞれの立場から、自発的な環境配慮行動に取り組みやすい指針を策定する。				活動指標名(式)				(1) 杉並区環境行動指針区民編普及版、本編作成数 (2) 杉並区環境行動指針事業者編普及版、本編作成数					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民・事業者が毎日の生活の中で直ぐにでも環境配慮行動を取れるようにする。				成果指標名(式)				(1) 杉並区環境行動指針区民編普及版、本編配布数 普及版については全世帯配付 (2) 杉並区環境行動指針事業者編普及版、本編配布数 普及版については全事業者配布					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 環境配慮行動の指針を示すことにより、区民・事業者が環境配慮行動を起こし、継続するきっかけとなる。														
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		部					279,000	279,000					
	活動指標(2)		部					25,000	25,000					
	成果指標(1)		部					264,323	264,323					
	成果指標(2)		部					23,260	23,260					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	130		5,588		4,749						
	職員数(正規   非常勤)		人	0.50		0.50		0.50				特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0		4,537		4,537		0			
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0			
	総事業費 + +		千円	0		4,667		10,125		9,286			0	
	単位あたりコスト ÷		円					36		33				
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都からの支出金		千円										
		その他特定財源		千円										
		特定財源計 + +		千円	0		0		0		0		0	
差引:一般財源 -		千円	0		4,667		10,125		9,286		0			
受益者負担比率 ÷		%												
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年10月、「杉並区環境行動指針を考える区民フォーラム」を設置し、検討を開始し、平成12年5月に区長に提言を行うまで16回の区民フォーラムを開催した。この区民フォーラム案を基に杉並区環境行動指針を策定した。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		配付された「杉並区環境行動指針普及版」について、区民からは「よくできている」という評価があった。「杉並区環境行動指針普及版」を手にした区民から「杉並区環境行動指針本編」を求められることもあった。											
	今後の予測		環境に係る区民・事業者の関心はこれからより高まっていくことから、環境配慮行動に関する具体的な情報提供を求める動きはますます多くなる。											

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ISO14001の推進				整理番号	627		細番号	2							
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	23106		連絡先電話番号	4113		昨年度整理番号							
係名 計画係				上位施策名				NO									
予算事業名 ISO14001の推進				コード				環境配慮行動の推進				15					
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業												
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1)												
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区がISO14001の認証取得を行う。				(2)												
					(3)												
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ISO14001の認証を区が取得し、率先して環境配慮行動に取り組む。				活動指標名(式)				(1) 区が実施する事務・事業の環境影響評価								
					(2) 規程、要綱、要領の作成												
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区がISO14001の認証取得をすることにより、率先して環境配慮行動に取り組むことから、区が環境先進都市としての第一歩を踏み出すことができる。				成果指標名(式)				(1) 区が排出するCO2の量の把握									
				(2) マネジメントシステムの構築													
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 国際規格の認証を取得することにより、区が区民・事業者の環境配慮行動を促進することができる。																	
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%							
					計画	実績		年度									
指標	活動指標(1)																
	活動指標(2)																
	成果指標(1)																
	成果指標(2)																
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,184	11,069	11,066	10,392										
	職員数(正規   非常勤)		人			2.27	2.27		特記事項 現時点での事業目標はISO14001認証取得であり、指標として数値に表すことはできない。								
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0	0	20,596	20,596					0				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0					0				
	総事業費 ++		千円	0	2,184	31,665	31,662	10,392									
	単位あたりコスト ÷		円														
	財源	受益者負担分		千円													
		国・都からの支出金		千円													
		その他特定財源		千円													
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0					0				
差引:一般財源 -		千円	0	2,184	31,665	31,662	10,392										
受益者負担比率 ÷		%															
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年4月からISOの職員研修を実施しているので、職員の環境への関心が高まるとともに、環境配慮行動への取り組みが定着しつつある。														
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		区がISO14001の認証取得をすることについて、区民の期待が高まっている。														
	今後の予測		区がISO14001の認証取得した後、地球温暖化対策実行計画を策定することにより、区におけるCO2削減について本格的に取り組むことができる。														



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		空き缶・吸殻投げ捨て防止対策				整理番号	628		細番号	659					
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230107		連絡先電話番号	4115		昨年度整理番号	659				
係名 防除美化係					上位施策名					NO					
予算事業名 環境保全の推進					コード	54400		環境美化の推進			12				
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地方自治法第2条第3項第7号								
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		在住・在勤(事業者)・在学者及び区への来訪者・通過者		(2) 清潔で美しい杉並区をみんなでつくる条例(美化条例)								
							(3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区報やポスターによるPRや駅前清掃、パネル展示などを通して美化条例の普及・啓発を進め、対象者のモラルアップを図ることによりポイ捨て防止につなげていく。					活動指標名(式)							
								(1) 行事等の開催数							
							(2) 広報やポスターによる啓発回数								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		空き缶・吸殻の投げ捨てをなくし、快適できれいな環境のまちをつくる。					成果指標名(式)								
							(1) (代)美化条例の周知度 = 周知数 ÷ アンケート回数								
							(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 美化条例の周知を徹底し、空き缶、吸い殻などの投げ捨てを防止することによって、快適環境を実現する。															
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度計画		12年度実績		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
											15	年度			
指標	活動指標(1)		回数	11		5		2		3		2			
	活動指標(2)		回数	20		6		4		5		4			
	成果指標(1)		%	44		45		50		48		50		60	
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,525		3,337		2,735		1,866		2,718			
	職員数(正規   非常勤)		人	1.42	0.10	0.50	0.10	0.70	0.10	0.75	0.10	0.45	0.10	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	12,884		4,537		6,351		6,805		4,083		
		非常勤職員分		千円	294		294		294		294		294		
	総事業費 + +		千円	17,703		8,167		9,380		8,965		7,095			
	単位あたりコスト ÷		円	1,609,324		1,633,480		4,690,000		2,988,217		3,547,375			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都からの支出金		千円											
		その他特定財源		千円											
		特定財源計 + +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	17,703		8,167		9,380		8,965		7,095				
受益者負担比率 ÷		%													
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成10年度から実施した、区内2カ所のごみ散乱調査の結果を見ると、空き缶や吸殻の投げ捨て状況に、目に見えた改善の様子や変化はない。ただし、ポイ捨て防止のポスターやステッカーの配布要請や関連の問合せは増加しており、区民の関心は高まっている。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		美化条例の周知の徹底、子供への環境教育、罰則規定による実効性の確保などの意見、ごみ箱吸殻入れの設置を望む声やモラルアップのみの取り組みならば条例は不要など、多くの意見が寄せられている。												
	今後の予測		平成12年度に清掃事業が移管されたことに伴い、東西清掃事務所で組織されている清掃協会の「ふれあい指導班」、都市整備部、区民生活部等と連携を密にして、美化条例の普及啓発を進めることで実効性の確保をしていく必要がある。												

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	環境美化推進員	整理番号	629	細番号	
所属部課名	環境清掃部環境課	コード	230107	連絡先電話番号	4115
係名	防除美化係	コード	54400	昨年度整理番号	661
上位施策名	環境美化の推進				NO
事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	10年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
事業終了期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成 年度	(1) 清潔でつくしい杉並区をみんなで作る条例(美化条例)		
対象区民	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2)		
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	それぞれの地域において、区と協力して環境美化の啓発その他の地域の環境美化の推進のための活動を行う。		活動指標名(式)		
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)	区民の環境美化意識を高めていくことにより、地域の快適な環境をつくる。		成果指標名(式)		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか					
環境美化推進員を置くことにより、各地域の実情に応じた環境美化の推進に寄与できると考えられるが、「事業を取り巻く環境」に記載のような状況である。					

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標(1)	件								
	活動指標(2)	件								
	成果指標(1)									
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	0	0	61	0	61			
	職員数(正規   非常勤)	人	0.00   0.00	0.00   0.00	0.00   0.00	0.00   0.00	0.00   0.00	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	0	0	61	0	61			
	単位あたりコスト ÷	円								
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	61	0	61			
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	美化条例では、環境美化推進員を公募して置くことができるとしている。区全域からの公募では地域によって選任される美化推進員の数に偏ることが考えられること、また、選任方法とともに美化推進員の役割や活動内容が確立していない。一方、エコスタッフ、美化推進員の選任を留保している。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	美化条例を改正して罰則を規定すること、駅周辺など主要な場所にごみ箱を設置することなどを望む声が寄せられている。								
	今後の予測	平成12年度は清掃事業が区に移管されたことなど、美化条例制定時とは取り巻く環境に変化がある。このため、清掃事業と連携したうえで清掃協力会や町会、商店会などの協力を得て選任していく必要がある。当初はモデル地区等を選定して、その地域内から選任することにし、順次全域に拡大していくことが望まれる。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		あき地等の管理指導				整理番号	630		細番号					
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230107		連絡先電話番号	4115		昨年度整理番号	662			
係名					防除美化係					上位施策名		NO		
予算事業名					架橋保全の推進					コード		54400		
										環境美化の推進		12		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		54年度		根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 地方自治法第2条第3項第7号							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		土地・建物の所有者及び管理者		(2) 清潔で美しい杉並区をみんなでつくる条例							
							(3) 杉並区あき地等の管理の適正化に関する指導要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		あき地等の雑草等の除去についての要望・苦情を受け、所有者・管理者に対し適正な管理について指導する。					活動指標名(式)						
								(1) 要望・苦情の受付数						
							(2) 除草機具の貸出数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		あき地等の適正管理に努め、地域の生活環境を適正に保つ。					成果指標名(式)							
							(1) 適正管理処置率 = 適正管理数 ÷ あき地数							
							(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
あき地等を適正に管理していくことで、区内の環境美化に貢献している。														
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%					
				計画	実績		年度							
指標	活動指標(1)	件数	77	64	80	96	80							
	活動指標(2)	件数	11	28	20	9	20							
	成果指標(1)	%	81	77	80	76	82							
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費	千円	61	38	115	69	115							
	職員数(正規   非常勤)	人	0.80   0.20	0.80   0.20	0.70   0.20	0.75   0.20	0.45   0.20	特記事項						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,258	7,258	6,351	6,805	4,083						
		非常勤職員分	千円	588	588	588	588	588						
	総事業費 + +	千円	7,907	7,884	7,054	7,462	4,786							
	単位あたりコスト ÷	円	102,691	123,191	88,174	77,724	59,821							
	財源	受益者負担分	千円											
		国・都からの支出金	千円											
		その他特定財源	千円											
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	7,907	7,884	7,054	7,462	4,786							
受益者負担比率 ÷	%													
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	美化条例の施行で、あき地の適正管理に加えて、対象が土地・建物全般に広がるなど事業の範囲が拡大している。												
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	ごみの不法投棄や放置など対応困難なケースも多くなる。												
	今後の予測	近年、宅地開発が進むことなどから近隣の関係が希薄となってきたこと、地域の美化意識が高まっていること、雑草の種子などに敏感に反応を示す人などがあることから、今後も対応件数は増えていくと予測できる。												

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		環境審議会運営				整理番号	631		細番号				
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先電話番号	4112		昨年度整理番号	663			
係名		庶務係			上位施策名					NO			
予算事業名		環境審議会運営		コード	54500	環境施策の総合的推進				13			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 9 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 環境基本法第44条								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区民 区議会議員 学識経験者から計15名以内				(2) 杉並区環境基本条例								
					(3) 杉並区環境審議会設置要綱								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 環境基本法(平成5年法律第99号)第44条の規定に基づく区長の付属機関として、区の環境の保全に関して必要な事項を調査審議する。				活動指標名(式) (1) 環境審議会開催回数  (2)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 区の環境行政に関し、区民等の意向を区政に反映させる。				成果指標名(式) (1) 委員の出席率  (2) 審議案件数									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか より区民の意向を反映した環境施策を推進することができる。													
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%				
				計画	実績		年度						
指標	活動指標(1)	回数	6	5	6	6	6						
	活動指標(2)												
	成果指標(1)	%	88	72	100	88	100						
	成果指標(2)	件	21	20	22	38	20						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,067	1,610	1,318	1,050	1,318					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.90	0.90	1.20	0.90	0.90	特記事項 杉並区環境審議会設置規則に環境審議会のほかに、部会を設置することができることになっているため、予算上、2回分を計上。したがって、審議会開催数は従前どおり6回とした。				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	8,166	8,166	10,888	8,166	8,166					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	9,233	9,776	12,206	9,216	9,484					
	単位あたりコスト ÷		円	1,538,783	1,955,140	2,034,267	1,535,950	1,580,617					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都からの支出金		千円									
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	9,233	9,776	12,206	9,216	9,484						
受益者負担比率 ÷		%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		環境の世紀といわれる21世紀を迎え、区民の環境問題に関する関心は高まりを見せている。快適環境の維持や利便性の追及の代償として失った自然環境の回復、地球環境への負荷の軽減、ごみ問題に代表される地域の美化など、が求められ「地球規模で考え足元から行動する」発想が市民権を得てきている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		環境に関する区民の意見・要望・苦情は、迷惑行為の防止や近隣公害の解決、環境美化の推進に関するものが多い。また、資源の再利用や地球温暖化防止に関し、区に先導的役割を期待した意見等がある。										
	今後の予測		環境問題に関する区民の関心はますます高まり、環境審議会の役割も重要度を増すものと考えられる。特に、地球温暖化対策など、地球環境の保全に関する施策を実施するにあたり、区民の協力を得なければ実施できないものや、利害関係の調整等を伴うものも予想される。これらを解決するに際し、環境審議会の意見は区政にとってさらに大きな意味を持つこととなる。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ねずみ・昆虫駆除				整理番号	641		細番号								
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230107		連絡先電話番号	4115		昨年度整理番号	677						
係名					防除美化係					上位施策名		NO					
予算事業名					各種防除・指導					コード		55000					
										健康を支える仕組みづくり		40					
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		40		年度		根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成		年度		(1) 地方自治法第2条第3項第7号						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他						(2) 杉並区害虫等防除指導要綱						
	区民										(3) 杉並区地域防災計画						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				相談を受け区民等に対して駆除等の助言・指導を行う。また、区民等が自主的に防除できない公共領域の防除及び水害時の消毒作業を直営又は委託で実施する。								活動指標名(式)			(1) 相談件数	
																(2)	
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				衛生的な環境を維持して、快適に暮らすことのできるまちをつくる。								成果指標名(式)			(1) 相談完結件数		
															(2)		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか													区民の健康の保持・増進に貢献している。				

  

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標(1)	件数	1555	1615	1600	1376	1300			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%	75	76	80	73	80			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	27,263	13,690	22,240	4,586	20,147			
	職員数(正規 非常勤)	人	2.01   1.05	2.01   1.05	2.00   1.05	2.00   1.05	1.07   1.05	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	18,237	18,237	18,146	18,146	9,708		
		非常勤職員分	千円	3,086	3,086	3,086	3,086	3,086		
	総事業費 + +	千円	48,586	35,013	43,472	25,818	32,941			
	単位あたりコスト ÷	円	31,245	21,680	27,170	18,763	25,339			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -	千円	48,586	35,013	43,472	25,818	32,941				
受益者負担比率 ÷	%									

  

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	カ・ハ工等の駆除用に殺虫剤を配布していたが、使用・保管方法によっては薬害に及ぶ恐れがあること、薬剤に対する区民の関心が高まっていること、薬剤を悪用した事件があること等から、平成12年度当初から廃止することとした。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	生活環境が改善されたことに伴い、カノハ工の苦情は減少して、ねずみの相談やハチの駆除の要望が多くなってきている。またカラスの苦情も繁殖期を中心に多く、かつ、増加している。殺虫剤配布を廃止したことについては、区民から問合せがあるが、説明し、理解を得るよう努めている。
	今後の予測	カラスの生息数の増加に伴い、苦情・要望が増加することが見込まれる。

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		病害虫防除				整理番号	642		細番号					
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230107	連絡先電話番号	4115		昨年度整理番号	678				
係名				防除美化係		上位施策名				NO				
予算事業名				各種防除・指導		健康を支える仕組みづくり				40				
事務事業の概要	事業開始年度		●昭和 ○平成		53年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		●無 ○有		平成 年度		(1) 地方自治法第2条第3項第7号							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区民		(2) 杉並区害虫等防除指導要綱							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		樹木に発生する病害虫の駆除相談を受け、適正な指導をする。区有施設については委託を基本に防除を実施する。また、区民に対し防除機具を貸し出す。				活動指標名(式)				(1) 延べ防除施設数 (2) 防除機具(エンジンスプレー)貸出数			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		樹木害虫を駆除し、快適な環境を整える。				成果指標名(式)				(1) 防除実施率 = 延べ防除施設数 ÷ 計画施設数 (2)			
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
区民の健康の保持・増進に貢献している。														
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
							計画	実績	計画		年度			
指標	活動指標(1)		施設数	128		206		233		110		153		
	活動指標(2)		台数	75		66		80		57		80		
	成果指標(1)		%	55		88		80		72		80		
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,878		4,120		3,370		1,320		3,354		
	職員数(正規   非常勤)		人	0.50	0.20	0.51	0.20	0.50	0.20	0.50	0.20	0.40	0.20	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	4,537		4,627		4,537		4,537		3,629	
		非常勤職員分		千円	588		588		588		588		588	
	総事業費 + +		千円	8,002		9,335		8,494		6,444		7,571		
	単位あたりコスト ÷		円	62,518		45,316		36,456		58,585		49,484		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都からの支出金		千円										
		その他特定財源		千円										
		特定財源計 + +		千円	0		0		0		0		0	
差引:一般財源 -		千円	8,002		9,335		8,494		6,444		7,571			
受益者負担比率 ÷		%												
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区立施設の防除では、現場調査を実施し、薬剤の必要性をよく見極めたくえで実施している。区民に対する殺虫剤の無料配布を、昆虫駆除用薬剤と同様に、平成12年度から廃止した。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		殺虫剤の廃止については、区民から苦情もあるが、事情を説明して理解を得よう努めている。											
	今後の予測		環境に配慮して、必要最小限の薬剤散布に限定していく。											

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公害監視、調査、指導				整理番号	665		細番号			
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	4118		昨年度整理番号	707		
係名		公害対策係			上位施策名				NO			
予算事業名		公害防止		コード	55800		公害の防止		16			
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 騒音規制法					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 振動規制法							
	工場等の事業者や建物等の解体を行う業者		(3) 東京都公害防止条例（平成13年4月から「都民の安全と健康を確保する環境に関する条例」に改正）									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		騒音規制法・振動規制法による特定建設作業実施届等の受理、燃料調査等の規制、指導を行う。		活動指標名(式)							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		事業所等の事業活動に伴う公害を未然に防止するとともに、公害が発生した場合にはこれを最小限に抑える。		成果指標名(式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		上位施策に直接に貢献している。		(1) (調査、指導、届出件数 - 違反、苦情件数) ÷ (調査、指導、届出件数) × 100 (%)								
		(2)										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		15年度	年度				
指標	活動指標(1)	件	344	401	500	363	500	500	72.6			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	%	99.2	98.8	99	98.9	99	99	99.9			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	321	4,708	16,400	13,149	16,316					
	職員数(正規   非常勤)	人	1.40	1.40	1.40	1.49	1.40	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	12,702	12,702	12,702	13,519	12,702				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	13,023	17,410	29,102	26,668	29,018					
	単位あたりコスト ÷	円	37,858	43,417	58,204	73,465	58,036					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	13,023	17,410	29,102	26,668	29,018					
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	事業所は微減、解体工事は微増の傾向である。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	環境・公害防止に対する区民の意識は高い。										
	今後の予測	近隣騒音などの都市型公害の割合が増えていくことが予測される。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		苦情処理、相談				整理番号	666		細番号			
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	4118		昨年度整理番号	708		
係名		公害対策係			上位施策名				NO			
予算事業名		公害防止		コード	55800	公害の防止				16		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 騒音規制法					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		事業者や近隣から騒音、悪臭等の公害を受けている区民等		(2) 振動規制法					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		苦情者等から苦情や相談を受け、事業者等の公害発生源に対して指導もしくは協力を求める。				(3) 東京都公害防止条例 (平成13年4月から「都民の安全と健康を確保する環境に関する条例」に改正)					
	活動指標名(式)		(1) 巡回・立入・指導件数				(2) 苦情・相談件数					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		区民等が受けている公害をできるだけ軽減し、区民を公害から守る。				成果指標名(式)						
						(1) 苦情・相談完結率(%) = (苦情・相談完結件数) ÷ (苦情・相談件数) × 100						
						(2)						
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 公害防止に直接に貢献している。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		15年度	年度				
指標	活動指標(1)	件	965	705	1000	826	900	900	91.8			
	活動指標(2)	件	28	35	50	43	50					
	成果指標(1)	%	107	80	90	100	90	95	105.0			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	375	307	2,374	2,309	1,142					
	職員数(正規   非常勤)	人	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	27,219	27,219	27,219	27,219	27,219	成果指標(1)の苦情・相談完結率(%)は、前年度以前の未解決分が当該年度に完結した場合は、100%を超えることもある。			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	27,594	27,526	29,593	29,528	28,361					
	単位あたりコスト ÷	円	28,595	39,044	29,593	35,748	31,512					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	27,594	27,526	29,593	29,528	28,361						
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	事業所等が次第に減少(昭和57年度2371 平成12年度1990事業所)し、事業所にかかる苦情は減少してきている。代わりに近隣騒音等、日常生活にかかる苦情が増加している。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	迅速な対応に努めており、「早く来てくれてありがたい」という評価がある一方、解決の困難な事案があった、「対応が遅い」という評価の時もある。										
	今後の予測	隣同士のコミュニケーションの欠如等から、近隣でのトラブルが増加、複雑化することが予測される。										



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		公害防止意識の啓発				整理番号	667		細番号			
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	4118		昨年度整理番号	709		
係名					公害対策係			上位施策名		NO		
予算事業名					公害防止		コード	55800		公害の防止	16	
事務事業の概要	事業開始年度				<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 環境基本法			
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区民、事業者		(2) 環境基本条例			
									(3) 杉並区ダイオキシン類の発生抑制に関する条例			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名(式)						
区民、事業者向けに、公害防止意識を啓発するためのパンフレットや小冊子を作成し配付する。また、広報紙によるほか、苦情・相談者や来庁者への情報提供や説明を行うことにより意識啓発を行う。					(1) 発行部数							
					(2) 苦情・相談件数							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名(式)							
区民や事業者等に公害防止意識を高めてもらう。					(1) 苦情・相談完結率							
					(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
区民・事業者への意識啓発によって、公害防止に貢献している。												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		15	年度				
指標	活動指標(1)	部	2500	5000	2500	2500	2500	2500				
	活動指標(2)	件	28	35	50	43	50					
	成果指標(1)	%	107	80	90	100	92	95	105.0			
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,492	1,000	998	995	1,000					
	職員数(正規 非常勤)	人	0.40	0.40	0.55	0.55	0.55	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	3,629	3,629	4,990	4,990	4,990	啓発資材のページ数により単位あたりのコストは増減する。			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	5,121	4,629	5,988	5,985	5,990					
	単位あたりコスト ÷	円	2,048	926	2,395	2,394	2,396					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	5,121	4,629	5,988	5,985	5,990					
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	環境に対する区民意識が高くなっており、快適な生活環境を求める人が多くなってきている。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区が「どの程度、どういった規制や指導ができるのか」また、「騒音等の環境基準がどうなっているのか知りたい」といった情報提供や説明を求められるケースが多い。										
	今後の予測	既存の公害が継続するとともに、区としてこれまで対応したことのなかった新しいタイプの公害問題が発生することが予想される。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		フロン回収				整理番号	668		細番号							
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108		連絡先電話番号	4118		昨年度整理番号	710					
係名					公害対策係					上位施策名		NO				
予算事業名					公害防止					コード		55800				
										公害の防止		16				
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		9年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期				●無 ○有		平成		年度		(1) 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律					
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区民が廃棄するエアコン		(2) 同施行令				(3) 同施行規則			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				委託により、廃棄されるエアコンからフロンを回収し、回収したフロンを破壊し無害化する。								活動指標名(式)			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				廃棄されるエアコンからフロンを回収・破壊し、オゾン層破壊の抑制に寄与する。								成果指標名(式)			
					意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 公害(ここではオゾン層の破壊)の抑制・防止に直接貢献している。								(1) フロン回収量			
												(2)				
												(1) フロン破壊量				
												(2)				
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%							
				計画	実績		年度									
指標	活動指標(1)		kg	261	654	600	593.7	0								
	活動指標(2)															
	成果指標(1)		kg	261	654	600	593.7	0								
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,320	660	829	543	0								
	職員数(正規 非常勤)		人	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	特記事項							
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,815	1,815	1,815	1,815	0							
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 ++		千円	3,135	2,475	2,644	2,358	0								
	単位あたりコスト ÷		円	12,010	3,784	4,406	3,971									
	財源	受益者負担分		千円												
		国・都からの支出金		千円												
		その他特定財源		千円												
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0							
差引: 一般財源 -		千円	3,135	2,475	2,644	2,358	0									
受益者負担比率 ÷		%														
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		フロンの回収は、当初啓発的的事业として始まったが、「家電リサイクル法」の成立により、回収が製造業者等に義務づけられた。													
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)															
	今後の予測		従来大気中に放出されていたフロンも業者に回収が義務づけられ、家電製品からのフロン回収が進むと見込まれる。													

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自動車排出ガス測定				整理番号	669		細番号		
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	4118		昨年度整理番号	711	
係名		公害対策係			上位施策名				NO		
予算事業名		公害実態調査		コード	56000	公害の防止				16	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 大気汚染防止法				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 東京都公害防止条例（平成13年4月から「都民の安全と健康を確保する環境に関する条例」に改正）						
	沿道地域の大气汚染状況		(3)								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		区内20地点において、1地点につき約4週間、1時間ごとに窒素酸化物を測定する。				活動指標名(式)				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		主に区内幹線道路沿道地域の大气汚染状況を把握し、その結果を区民に提供するとともに、自動車公害防止の基礎資料とする。				成果指標名(式)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		公害防止施策のための基礎資料となっている。				(1) 沿道付近地域の二酸化窒素濃度の単純平均値(ppm)					
						(2) 沿道以外の地域の二酸化窒素濃度の単純平均値(ppm)					
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		15	年度			
指標	活動指標(1)	地点	20	20	20	20	20	22			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	ppm	0.038	0.038	0.035	0.043	0.037	0.035			
	成果指標(2)	ppm	0.031	0.028	0.025	0.027	0.027	0.026			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	6,532	5,942	5,735	5,989	5,717				
	職員数(正規 非常勤)	人	0.45	0.45	0.50	0.45	0.45	特記事項			
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,083	4,083	4,537	4,083	4,083			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +	千円	10,615	10,025	10,272	10,072	9,800				
	単位あたりコスト ÷	円	530,743	501,243	513,575	503,593	489,993				
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都からの支出金	千円								
		その他特定財源	千円								
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -	千円	10,615	10,025	10,272	10,072	9,800					
受益者負担比率 ÷	%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	区内を走行する貨物車やバスの台数増加に伴い、浮遊粒子状物質などの大気汚染は沿道だけでなく、沿道以外の地域にも及んでいる。 (例 = 青梅街道梅里で平成7年度16,694台 平成11年度19,624台)									
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	「自動車の排気ガスがひどく、測定してほしい」などの声が寄せられている。									
	今後の予測	都内の大気汚染は特に幹線道路沿いで著しく、都のディーゼル車対策等の自動車公害対策が早急、かつ、着実に実施されないと改善が進まない。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通騒音振動測定				整理番号	670		細番号		
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108	連絡先電話番号	4118		昨年度整理番号	712	
係名		公害対策係			上位施策名				NO		
予算事業名		公害実態調査		コード	56000	公害の防止				16	
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 騒音規制法 (2) 振動規制法 (3)				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		主に幹線道路沿いの自動車騒音・振動						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		幹線道路沿道約23地点に各1週間、測定機器を設置し、自動車の騒音・振動を測定する。騒音規制法に基づく要請限度を超える地点については、被害状況等を考慮し、道路管理者等に要請等を行う。				活動指標名(式) (1) 調査地点数 (2)				
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		沿道地域の騒音、振動を測定し、自動車公害の防止に役立てる。				成果指標名(式) (1) 夜間の環境基準達成率 (2) 夜間において要請限度を超えない地点の割合				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 公害防止施策の基礎資料になっている。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		地点	23	23	23	23	23			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	4.3	4.3	10	8.7	10	15	58.0	
	成果指標(2)		%	34.8	30.4	40	39.1	40	45	86.9	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	190	1,203	1,154	368	242			
	職員数(正規   非常勤)		人	0.95	0.95	1.00	1.00	1.05	特記事項 平成11年度から新しい環境基準が施行され、平成12年度から新しい要請限度が施行された。		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	8,619	8,619	9,073	9,073	9,527			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	8,809	9,822	10,227	9,441	9,769			
	単位あたりコスト ÷		円	383,015	427,059	444,652	410,478	424,724			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	8,809	9,822	10,227	9,441	9,769				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成11年4月1日、環境基準が改正され、また、騒音の評価方法も中央値から等価騒音レベルに変更された。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		「自動車騒音がひどいので改善してほしい」、「前の道路で騒音・振動を測定してほしい」といった区民要望が寄せられている。								
	今後の予測		低騒音舗装等の対策がとられているが、自動車交通騒音の劇的な減少は今のところむずかしく、騒音測定を今後も実施していく必要がある。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		鉄道騒音振動測定				整理番号	671		細番号		
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108		連絡先電話番号	4118			
係名		公害対策係		上位施策名				NO			
予算事業名		公害実態調査		コード	56000		公害の防止		16		
事務事業の概要	事業開始年度		<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成		46 年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 騒音防止法				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		鉄道沿線の騒音・振動の状況			(2)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内鉄道沿線8地点で騒音・振動を測定している。数値の高い地点の鉄道会社には、車両の軽量化等の改善要望を行う。				活動指標名(式)				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		鉄道の騒音・振動による公害を軽減する。				成果指標名(式)				
						(1) (苦情発生件数 ÷ 調査地点数) × 100					
						(2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
鉄道事業者に対し、騒音・振動の軽減対策を講ずるよう要請することによって、公害防止に寄与している。区からの要請のみによるわけではないが、軌道のロングレール化や運行方法の改善が、一定程度進められてきている。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		15 年度			
指標	活動指標(1)		地点	8	8	8	8	8			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%	0	0	0	0	0	0		
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	7	22	24	0	24			
	職員数(正規   非常勤)		人	0.30	0.30	0.30	0.25	0.25	特記事項 平成12年4月1日の組織改正により、職員数の算定を見直した。 事業費は、測定機器の記録用紙の購入費のみである。		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,722	2,722	2,722	2,268	2,268			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	2,729	2,744	2,746	2,268	2,292			
	単位あたりコスト ÷		円	341,113	342,988	343,238	283,531	286,531			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	2,729	2,744	2,746	2,268	2,292				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		鉄道沿線の宅地化が進んだ。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		平成12年度は鉄道騒音・振動にかかる苦情は、きわめて少なかった。								
	今後の予測		線路の複々線化やダイヤの過密化、宅地化の進展により、新たな個所で苦情が発生することが予測される。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		大気汚染常時測定				整理番号	672		細番号					
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108		連絡先電話番号	4118		昨年度整理番号	715			
係名				公害対策係				上位施策名		NO				
予算事業名				公害実態調査		コード	56000		公害の防止		16			
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		46年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				●無 ○有		平成		年度		(1) 大気汚染防止法			
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他						(2) 東京都公害防止条例(平成13年4月から「都民の安全と健康を確保する環境に関する条例」に改正)			
	区内大気汚染の状況										(3)			
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				区内5地点において、年間を通じ窒素酸化物や浮遊粒子状物質等を1時間ごとに測定する。						活動指標名(式)			
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)				区内大気汚染状況を把握し、区民に提供するとともに、大気汚染防止の基礎資料とする。						成果指標名(式)			
										(1) 測定地点数				
										(2) 区民への情報提供(広報、環境白書など)、東京都への報告などの回数				
										(1) 二酸化窒素の環境基準達成率				
										(2) 浮遊粒子状物質の環境基準達成率				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												公害防止施策のための基礎資料となっている。		
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%					
				計画	実績		15年度	年度						
指標	活動指標(1)	地点	4	4	5	5	5	6						
	活動指標(2)	回数	3	3	3	3	3	10	30.0					
	成果指標(1)	%	25	50	60	60	60	80	75.0					
	成果指標(2)	%	0	0	0	0	33	33	0.0					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,424	8,192	7,659	7,193	8,303						
	職員数(正規 非常勤)		人	1.10	1.10	1.30	1.35	1.35	特記事項					
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	9,980	9,980	11,795	12,249	12,249	職員数の増は測定地点の増加のため、平成12年度に清掃事業所に増設されたが、維持管理費は清掃事業所の予算で支弁されている。					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	22,404	18,172	19,454	19,442	20,552						
	単位あたりコスト ÷		円	5,601,075	4,543,075	3,890,780	3,888,310	4,110,310						
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都からの支出金		千円										
		その他特定財源		千円										
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0			0			
差引:一般財源 -		千円	22,404	18,172	19,454	19,442	20,552							
受益者負担比率 ÷		%												
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区内を走行する自動車のうち、ディーゼル車(貨物車、バス、乗用車)の台数が増加した。(交通量は、青梅街道梅里を例にとると、平成7年度の16,694台から平成11年度は19,624台に増加している。)											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		「空気が悪い」、「自分の住んでいる地域の大气汚染の状況を知りたい」、「大気測定局を増設してほしい」等の意見、要望が寄せられている。											
	今後の予測		第二次東京都地方分権推進計画に基づく都区の役割分担の見直しで、今後は常時監視(測定)を区で実施していく方向性が示されている。大気汚染防止法上の政令市となった場合は調査、測定体制の強化が必要となる。											

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		河川水質測定				整理番号	673		細番号							
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108		連絡先電話番号	4118		昨年度整理番号	716					
係名					公害対策係					上位施策名		NO				
予算事業名					公害実態調査					コード		56000				
事業開始年度					<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 46 年度					根拠法令等					<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
事業終期					<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度					(1) 水質汚濁防止法						
対象					<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 河川水質及びその周辺環境					(2)						
										(3)						
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					活動指標名(式)										
	区内3河川、計7地点で、年4回水質調査を行う。 区内の池4ヶ所で年2回水質調査を行う。					(1) 延べ調査検体数										
						(2)										
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)					成果指標名(式)										
	河川水質を把握し、区民にその状況を提供するとともに、水質及びその周辺環境の保全のための資料とする。					(1) BOD(生物化学的酸素要求量)の環境基準達成率										
					(2)											
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか																
公害防止施策のための基礎資料となっている。																
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%							
				計画	実績		15	年度								
指標	活動指標(1)	検体数	36	36	36	36	36	36								
	活動指標(2)															
	成果指標(1)	達成率	100	100	100	100	100	100	100.0							
	成果指標(2)															
総事業費・コスト把握	事業費	千円	30	30	30	30	30									
	職員数(正規 非常勤)	人	0.50	0.55	0.55	0.55	0.55									
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	4,537	4,990	4,990	4,990	4,990	特記事項 事業費は神田川水系水質監視連絡協議会分担金である。							
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0								
	総事業費 ++	千円	4,567	5,020	5,020	5,020	5,020									
	単位あたりコスト ÷	円	126,847	139,449	139,449	139,449	139,449									
	財源	受益者負担分	千円													
		国・都からの支出金	千円													
		その他特定財源	千円													
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0								
差引: 一般財源 -	千円	4,567	5,020	5,020	5,020	5,020										
受益者負担比率 ÷	%															
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	下水道普及率の向上により、河川水質は改善されて来ている。ただし、大量の降雨により、下水が河川にあふれ出て、水質や景観の悪化をきたすことがある。														
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	「河川に汚物が流れ込んで臭う」、「見た目が悪い」等の苦情がある。														
	今後の予測	第二次東京都分権推進計画に基づく都区の役割分担の見直しで、河川水質の常時監視が区の事務となることが検討されている。その場合には、事務体制、調査体制の強化が必要となる。														

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		光化学スモッグ対策				整理番号	674		細番号						
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108		連絡先電話番号	4118		昨年度整理番号	717				
係名				公害対策係				上位施策名		NO					
予算事業名				公害実態調査		コード	56000		公害の防止		16				
事務事業の概要	事業開始年度				●昭和 ○平成		46年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				●無 ○有		平成		年度		(1) 大気汚染防止法				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		主に区民全体の生命、健康		(2) 杉並区光化学スモッグ緊急時連絡体制に関する要綱						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				光化学スモッグ注意報等が発令された場合に、防災行政無線及び垂れ幕等により区民等に発令情報を周知する。また、光化学スモッグに対する諸注意等について、広報紙により啓発する。		活動指標名(式)		(1) 発令日数						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				光化学スモッグ注意報等の発令を速やかに伝え、光化学スモッグの被害から区民を守る。		成果指標名(式)		(1) (発令日に被害者の発生しなかった日数 ÷ 発令日数) × 100 (%)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか															
公害による被害者を未然に防止することに寄与している。															
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%						
					計画	実績		15年度							
指標	活動指標(1)		日数	6	1	6	13	6	6						
	活動指標(2)														
	成果指標(1)		%	83.3	100	100	100	100	100	100.0					
	成果指標(2)														
総事業費・コスト把握	事業費		千円	364	2,190	314	265	314							
	職員数(正規   非常勤)		人	0.85	1.05	1.00	1.00	1.00	特記事項						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,712	9,527	9,073	9,073	9,073	光化学スモッグ注意報の発令日数は気象条件に大きく左右され、年度によって変動がある。は11年度の事業費には、都区間の同報無線機の撤去費用を含む。						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0							
	総事業費 ++		千円	8,076	11,717	9,387	9,338	9,387							
	単位あたりコスト ÷		円	1,346,008	11,716,650	1,564,500	718,308	1,564,500							
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都からの支出金		千円											
		その他特定財源		千円											
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0				0			
差引:一般財源 -		千円	8,076	11,717	9,387	9,338	9,387								
受益者負担比率 ÷		%													
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		気象条件に大きく影響を受けるが、注意報等の発令回数や被害者数は開始当初に比べ減少している。しかしながら、平成12年度の発令回数は5年ぶりに13回と多かった。												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		「防災行政無線屋外放送塔からの音声が聞取りにくい」、「霧笛がうるさい、どうにかならないか、他の音に変えられないか」、「注意報の解除時に放送がない」という声もある。												
	今後の予測		大気環境に大きな改善がなければ、今後も年に数回程度は光化学スモッグ注意報が発令されると思われる。												



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		冬期自動車交通量対策				整理番号	675		細番号								
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230108		連絡先電話番号	4118		昨年度整理番号	718						
係名				公害対策係				上位施策名		NO							
予算事業名				公害実態調査		コード	56000		公害の防止		16						
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		5		年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成		年度		(1) 大気汚染防止法						
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		自動車を使用する事業者、区民および交通量						(2) 東京都公害防止条例（平成13年4月から「都民の安全と健康を確保する環境に関する条例」に改正）				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				都と共同して、冬期における自動車の交通量を抑制するよう事業者に要請する。同時に、区民にも協力を呼びかける。								活動指標名(式)		(1) 要請件数		
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				冬期において自動車の使用抑制を呼びかけ、交通量を削減することにより、窒素酸化物の低減を図る。								成果指標名(式)		(1) 庁有車の使用抑制率		
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				自動車の使用を抑制することにより、公害の抑制・防止に寄与している。								(2) 期間中の二酸化窒素削減率（都の自動車排ガス局全体平均）（%）				
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%								
指標	活動指標(1)		件数	752	734	800	719	800	1000								
	活動指標(2)																
	成果指標(1)		%	30	30	30	40	30	30	133.0							
	成果指標(2)		%	3	3												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	87	96	177	169	196									
	職員数(正規   非常勤)		人	0.30	0.30	0.30	0.25	0.25	特記事項								
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	2,722	2,722	2,722	2,268	2,268	事業費は、郵送費である。								
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0									
	総事業費 + +		千円	2,809	2,818	2,899	2,437	2,464									
	単位あたりコスト ÷		円	3,735	3,839	3,624	3,390	3,080									
	財源	受益者負担分		千円													
		国・都からの支出金		千円													
		その他特定財源		千円													
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0					0				
差引:一般財源 -		千円	2,809	2,818	2,899	2,437	2,464										
受益者負担比率 ÷		%															
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区内を走行する自動車のうちディーゼル車(貨物車、バス、ディーゼル乗用車)の台数が増加した。(交通量は、青梅街道梅里を例にとると、平成7年度16,694台 平成11年度19,624台と増加している。)														
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		「アイドリング・ストップを徹底してほしい」という声が寄せられている。														
	今後の予測		都が予定しているロードプライシングが実施されると、実施地域では年間の自動車の使用抑制が図られる可能性がある。一方、その周辺地域では、交通量の増大や生活道路への車両の流入が予測される。														

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		自然保護の啓発			整理番号	676		細番号					
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230101		連絡先電話番号	4112					
係名		庶務係		上位施策名				NO					
予算事業名		自然環境保全		コード	56200		環境施策の総合的推進		719				
事務事業の概要	事業開始年度			● 昭和 ○ 平成		60 年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期			● 無 ○ 有		平成 年度		(1) 自然環境保全法					
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(2) 環境基本法					
	会報等の発行；杉並生き物アンケート調査協力者 自然観察会；希望する区民							(3) 東京における自然の保護と回復に関する条例					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）			会報等の発行；杉並生き物アンケート調査協力者に対し、定期的に会報を送付する。 自然観察会；希望者を募集し、昆虫や植物、鳥類などの観察会を実施する。				活動指標名(式)		(1) 会報等の発行；発行回数 (2) 自然観察会；実施回数			
意図（対象をどのような状態にしたいのか）			会報等の発行；自然保護の意識を育むとともに、5年毎に実施する（2年間）杉並の生き物アンケート調査に関わる情報を提供し、杉並の自然環境の変化について認識を深める。 自然観察会；気軽な参加により、自然保護の意識を育む。				成果指標名(式)		(1) アンケートの回収率 (2) 自然観察会の参加者数				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 自然を大切にすることを意識を持った区民の増加が、暮らしと環境が調和するまちづくりに寄与していく。													
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		回	3	3	5	5	5					
	活動指標(2)		回	3	3	3	3	3					
	成果指標(1)		%				11	13					
	成果指標(2)		人	125	137	150	135	150					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	708	923	908	673	956					
	職員数(正規 非常勤)		人	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	7,258	7,258	7,258	7,258	7,258	平成12年度は、583名に12種類のアンケートを行い、770枚の返信があった。				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	7,966	8,181	8,166	7,931	8,214					
	単位あたりコスト ÷		円	2,655,467	2,727,133	1,633,280	1,586,280	1,642,880					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都からの支出金		千円									
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0			0		
差引：一般財源 -		千円	7,966	8,181	8,166	7,931	8,214						
受益者負担比率 ÷		%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		会報等の発行；杉並の生き物アンケート調査協力員の人数は、現在529名である。 自然観察会；気軽に自然に親しむ会として、概ね好評である。特に、夏休み期間中に実施する観察会は、定員を大幅に越える申込みがある。										
	事業に対する住民の意見（事業に対する期待・要望・苦情など）		会報等の発行；担当部署にある程度専門的な相談ができる職員（理科の先生など）を配置してほしいという要望がある。 自然観察会；すぐに定員を超えてしまうため、定員や回数を増やしてほしいという要望が寄せられている。										
	今後の予測		気軽に自然に親しめる自然保護の啓発事業については、実施希望は今後も増加していくと思われる。今後は、教育関係施設など趣旨の事業を行っている機関との連携により、効果的な運用や人材の活用といったことが課題となる。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生き物アンケート調査				整理番号	677		細番号				
所属部課名		環境清掃部環境課		コード	230101	連絡先電話番号	4112		昨年度整理番号	720			
係名		庶務係			上位施策名				NO				
予算事業名		自然環境保全		コード	56200	環境施策の総合的推進				13			
事務事業の概要	事業開始年度 <input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 60 年度				根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 自然環境保全法								
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 杉並区の昆虫・野鳥・野草等				(2) 環境基本法								
					(3) 東京における自然の保護と回復に関する条例								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 杉並の生き物アンケート調査協力者約550名の協力により、杉並区を50数箇所のメッシュに分け、四季折々の昆虫(含、せみの抜け殻)・野鳥(含、ツバメの巣)・野草の分布状況を5年毎に2年間調査を行う。調査結果は、学識経験者によって行われる杉並区動植物生息状況調査とともに3年目に報告される。				活動指標名(式) (1) 延べアンケート回収率 = < (延べアンケート回収数) / (アンケート12種 * 発送数) > * 100 (2)								
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並の自然環境の現況を5年間隔で変遷を把握していくこと。				成果指標名(式) (1) 今回の延べアンケート回収率 / 前回の延べアンケート回収率 * 100 (2)									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 区民の自然保護の意識を高め、暮らしと環境の調和がとれたまちの実現に寄与する。													
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		%				11	13					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%				98	118					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円			555	368	6,839					
	職員数(正規   非常勤)		人			0.50	0.50	0.50	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	4,537	4,537	4,537	12年度当初は583名が参加。返信770枚(11%)。なお、平成7年度には986枚(13.5%)、同8年度には823枚(11.2%)の返信があった。(対象者611名。ただし、成8年度は若干減少していたと思われる)。 <成果指標> 平成8年度 / 平成7年度 = 0.83 平成12年度 / 平成8年度 = 0.98 また、12年度の動植物調査は「緊急地域雇用対策事業」で実施。				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	0	0	5,092	4,905	11,376					
	単位あたりコスト ÷		円				445,864	875,038					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都からの支出金		千円									
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	5,092	4,905	11,376						
受益者負担比率 ÷		%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和60年に開始以来、今回で第4次を迎える。調査者は現在529名と減少している。15年間に生態の変化が見られる。例えば、第3次にはツバメの巣を112名観測、5年後の平成12年には73名の観測となった。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		一部に、調査結果の還元が不十分との強い意見がある。										
	今後の予測		杉並区の動植物生息状況調査は、自然環境の変化を定期的に把握した、貴重なものである。継続的に実施すべきだが、関係している学識経験者の高齢化とともに、実施方法と報告書の監修方法に後継者の育成が望まれる。環境の世紀を迎え、自然環境の基礎データの蓄積は不可欠。総合的な区の環境政策が必要となる。実施主体は、機能強化した(仮称)環境・リサイクルセンターが行うことが望ましい。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		総務管理			整理番号	678		細番号		
所属部課名 環境清掃部清掃管理課				コード	230201		連絡先電話番号	4133		
係名 清掃計画係				上位施策名				NO		
予算事業名 リサイクル・清掃管理				コード	56275		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		17	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 内部管理事務				(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例					
					(3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 清掃関連各課(所)との調整事務及び清掃関連情報の収集、提供。ごみの搬入、搬出に関するデータの集積を行い、出先機関と本庁においてごみ量を把握する。課内庶務事務。				活動指標名(式) (1) 清掃関連職員数。 (2)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式) (1) (2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		人			380	381	378		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)									
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			16,081	8,404	14,709		
	職員数(正規 非常勤)		人			2.80	3.00	2.80	特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	25,404	27,219	25,404		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	0	0	41,485	35,623	40,113		
	単位あたりコスト ÷		円			109,172	93,499	106,120		
	財源	受益者負担分		千円			0	0		0
		国・都からの支出金		千円			0	0		0
		その他特定財源		千円			0	0		0
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	41,485	35,623	40,113			
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度新規事業							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		なし							
	今後の予測									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃審議会の運営				整理番号	679		細番号				
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230201	連絡先電話番号	4133		昨年度整理番号	1040			
係名				清掃計画係				上位施策名		NO			
予算事業名				リサイクル・清掃管理		コード	56275		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進				
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		清掃審議会		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				清掃審議会の事務局として資料作成、連絡調整を行う。清掃審議会委員15名。審議会5回開催。		活動指標名(式)		(1) 出席委員延べ人数				
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				活発な議論が行われ、学識経験者の助言や区民の意見が施策に反映される審議会とする。		成果指標名(式)		(1) 中間答申、答申及び提言の数				
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				審議会を通じて学識経験者の助言や区民の意見を清掃事業に反映させる。		(2)						
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		14年度	年度				
指標	活動指標(1)		人			90	65	120	90	72.2			
	活動指標(2)		回			6	5	8	6				
	成果指標(1)		件			0	0	1	1	0.0			
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円			1,091	988	1,878					
	職員数(正規   非常勤)		人			0.50	0.55	0.80	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	4,537	4,990	7,258	清掃審議会の予定 平成13年10月中間答申 平成14年7月最終答申				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 + +		千円	0	0	5,628	5,978	9,136					
	単位あたりコスト ÷		円			62,534	91,970	76,134					
	財源	受益者負担分		千円			0	0			0		
		国・都からの支出金		千円			0	0			0		
		その他特定財源		千円			0	0			0		
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	5,628	5,978	9,136						
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0						
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年7月 清掃審議会設置										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		なし										
	今後の予測		清掃事業が区の事業となったことにより、様々な区民の要求が出てくる。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		一般廃棄物処理計画の策定				整理番号	680		細番号	
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230201	連絡先電話番号	4133		昨年度整理番号	1041
係名				清掃計画係				上位施策名		NO
予算事業名				リサイクル・清掃管理		コード	56275		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 廃棄物処理及び清掃に関する法律					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 杉並区の今後の清掃事業のあり方				(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例					
					(3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 一般廃棄物処理基本計画の見直しにあたっては、計画策定についてコンサル会社に支援業務を委託する。				活動指標名(式)					
					(1) 計画策定のために提供を受けた資料数					
				(2) コンサルタントとの打合せ回数						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 平成23年度までのごみ減量化のスケジュール、ごみ減量の手法等を明確化する。				成果指標名(式)						
				(1) 計画策定達成率 (%)						
				(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 一般廃棄物処理基本計画を策定することにより、杉並区としてのごみ減量化及びリサイクル清掃業務に貢献する。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		14年度	15年度		
指標	活動指標(1)	件			30	39	30			
	活動指標(2)	回			12	10	16			
	成果指標(1)	%			30	30	60	100	30.0	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円			3,600	3,360	3,000			
	職員数(正規   非常勤)	人			1.60	1.69	1.60	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	14,517	15,333	14,517		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	0	0	18,117	18,693	17,517			
	単位あたりコスト ÷	円			603,900	479,308	583,900			
	財源	受益者負担分	千円			0	0	0		
		国・都からの支出金	千円			0	0	0		
		その他特定財源	千円			0	0	0		
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	18,117	18,693	17,517			
受益者負担比率 ÷	%			0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	清掃審議会では、「杉並区一般廃棄物処理基本計画の見直しについて」の諮問を受け、平成14年7月の答申に向けて審議中である。								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	なし								
	今後の予測	清掃審議会からの答申を受け、一般廃棄物処理基本計画の見直しを行うことになる。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃関係表彰			整理番号	681		細番号		
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230202		連絡先電話番号	4134		
係名		清掃職員係			上位施策名				NO	
予算事業名		リサイクル清掃管理		コード	56275		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		17	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 清掃功労者(功労団体)感謝状贈呈基準					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 清掃事業に貢献した功績顕著者、清掃事業従事職員				(2)					
					(3)					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 各清掃事務所で清掃事業に貢献した者を推薦し、表彰者を決定をする。表彰者は、清掃協会の総会において表彰される。				活動指標名(式) (1) 清掃功労者表彰推薦者数 (2)					
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 清掃事業に貢献した者に対して、その功績に報いる。				成果指標名(式) (1) 清掃功労者表彰者数 (2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 意識を高め、分別や排出日の徹底などリサイクル、排出の適正化、まちの美化等を図ることができる。										
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		年度		
指標	活動指標(1)		人			25		45		
	活動指標(2)									
	成果指標(1)		人			25				
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費		千円			334	0	49		
	職員数(正規   非常勤)		人			0.40		0.40	特記事項 13年度から清掃事務所の事業として予算編成を行った。 (13年度計画は、西・東清掃事務所合算分)	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	3,629	0	3,629		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	0	0	3,963	0	3,678		
	単位あたりコスト ÷		円			158,528		81,738		
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都からの支出金		千円						
		その他特定財源		千円						
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0		0
差引:一般財源 -		千円	0	0	3,963	0	3,678			
受益者負担比率 ÷		%								
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度清掃事業が区に移管され、区対応になった。							
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		なし							
	今後の予測		区においては、貢献者表彰等類似した表彰制度もあるため、総合的に検討及び調整が必要。							

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		一般普及・広報				整理番号	682		細番号		
所属部課名 環境清掃部清掃管理課		コード	230201		連絡先電話番号	4133		昨年度整理番号	1043		
係名 清掃計画係		上位施策名						NO			
予算事業名 普及啓発		コード	56280		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進				14		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12 年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区民、事業者		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例						
					(3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)						
	パンフレット等を作成し、対象者に配布する。これにより区の清掃事業、ごみの出し方・分別の方法をPR。				(1) パンフレット、チラシ延べ作成数						
				(2)							
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)							
清掃事業をより深く理解してもらい、ごみの減量化を図る。				(1) 不燃ごみとして排出された中の可燃ごみの混入率							
				(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか											
清掃事業を理解してもらうことが、ごみの発生抑制及びリサイクル推進の基礎となる。											
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%		
				計画	実績		年度				
指標	活動指標(1)	部			6,250	3,100	320,250				
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%			10	10	9				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費	千円			1,903	956	10,842				
	職員数(正規   非常勤)	人			1.00	1.00	0.70	1.00	特記事項 13年度は、全戸配布用の「ごみの出し方」チラシを作成予定。		
	人件費	千円	0	0	9,073	9,073	6,351				
	非常勤職員分	千円	0	0	0	0	2,939				
	総事業費 ++	千円	0	0	10,976	10,029	20,132				
	単位あたりコスト ÷	円			1,756	3,235	63				
	財源	受益者負担分	千円			0	0	0			
		国・都からの支出金	千円			0	0	0			
		その他特定財源	千円			0	0	0			
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	0	0	10,976	10,029	20,132				
受益者負担比率 ÷	%			0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成12年度新規事業									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	視覚障害者及び外国人向けPRの充実。									
	今後の予測	今後、循環型社会に向けた法整備や拡大生産者責任の重視などにより、廃棄物処理・リサイクルルートが複雑化してくると思われ、計画的な普及啓発とタイムリーなPRが必要となる。									



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全対策・安全管理				整理番号	686		細番号			
所属部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230202	連絡先電話番号	4134		昨年度整理番号	1042		
係名				清掃職員係		上位施策名			NO			
予算事業名				指導業務		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			17			
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 道路交通法					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		清掃事務所、清掃事業所職員、正副安全運転管理者		(2) 杉並区職員研修実施要綱					
							(3) 労働安全衛生法					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		清掃職員向けに交通安全講習会を春・秋に開催する。正副安全運転管理者に対する講習会を行う。自動車運転職員に対する運転技術研修を行う。職場内研修の充実。部、所安全衛生委員会の定期的開催。				活動指標名(式)				(1) 交通安全講習会受講者数及び派遣研修受講者数	
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		交通安全に対する管理体制の強化。自動車運転職員の運転技術の向上と安全運転意識の高揚。交通事故の件数の減少。公務災害の発生防止。				成果指標名(式)				(1) 交通事故等件数 / 講習会受講者数 × 100		
										(2) 安全衛生委員会開催数		
										(2) 公務災害発生件数		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 交通事故を減らして、安全なごみの収集作業を実現する。												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度	年度				
指標	活動指標(1)	人			429	424	410					
	活動指標(2)	回			38	38	38					
	成果指標(1)	%				2						
	成果指標(2)	件				16						
総事業費・コスト把握	事業費	千円			1,197	258	1,664					
	職員数(正規   非常勤)	人			1.40	1.40	1.40	特記事項 安全運転講習会は、各清掃事務所、清掃事業所毎に開催するので、13年度は各所で予算編成を行った。また、自動車運転職員の研修は、清掃事業所のみ該当なので、13年度から清掃事業所の事業として予算編成を行った。(13年度計画は、各清掃事務所、清掃事業所、清掃管理課合算分)				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	12,702	12,702			12,702		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0		
	総事業費 + +	千円	0	0	13,899	12,960	14,366					
	単位あたりコスト ÷	円			32,399	30,567	35,040					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -	千円	0	0	13,899	12,960	14,366						
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	清掃事業の移管により、都の事業が区の事業になった。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	直営車が雇上車が特定できないが、ある一部の地域で運転が荒いとの苦情があった。										
	今後の予測	道路事情、集積所収集回数の増加などの環境の変化の中で、引き続き交通安全を行っていく必要がある。また、作業上の安全については、清掃事業が区の事業として定着してきたため、公務災害は減少してくると思われる。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		一部事務組合等負担金				整理番号	700		細番号	
所属部課名 環境清掃部清掃管理課		コード	230201		連絡先電話番号	4133		昨年度整理番号		
係名 清掃管理課		上位施策名				NO				
予算事業名 一部事務組合等負担金		コード	56310		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		17			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 17年度		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		東京23区清掃一部事務組合、東京23区清掃協議会		(2) 東京二十三区清掃一部事務組合規約					
					(3) 東京二十三区清掃協議会規約					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		人口割合に応じた負担金を支出。		活動指標名(式)					
				(1) 4月1日現在人口						
				(2)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		可燃、不燃、粗大ごみの中間処理及びし尿の下水道の投流について、一部事務組合が共同処理を行うことで効率化を図る。また、清掃協議会が各特別区及び一部事務組合において必要な調整を行う。		成果指標名(式)						
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 清掃事業の運営を円滑で効率的にしている。		(1) 杉並区のごみ処理量(資源ごみを除く)						
				(2) 杉並区のし尿処理量						
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		17年度			
指標	活動指標(1)	人			515,000	513,180	517,000	512,335	100.1	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	t			154,008	154,830	181,164			
	成果指標(2)	kl			606.07	477.02	418.19			
総事業費・コスト把握	事業費	千円			3,154,000	2,438,040	2,618,086			
	職員数(正規   非常勤)	人			0.10	0.10	0.10	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	907	907	907		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	0	0	3,154,907	2,438,947	2,618,993			
	単位あたりコスト ÷	円			6,126	4,753	5,066			
	財源	受益者負担分	千円			0	0	0		
		国・都からの支出金	千円			0	0	0		
		その他特定財源	千円			0	0	0		
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	3,154,907	2,438,947	2,618,993			
受益者負担比率 ÷	%			0.0	0.0	0.0				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成12年度新規事業								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	なし								
	今後の予測	平成18年度に清掃事業の完全移管が予定されている。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		リサイクルの啓発				整理番号	632		細番号				
所属部課名		環境清掃部リサイクル清掃課		コード	230302		連絡先電話番号	4123		昨年度整理番号	665		
係名				リサイクル推進係				上位施策名			NO		
予算事業名				リサイクルの推進		コード	56305		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			14	
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		3		年度				
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成		年度				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区民全般		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				主に印刷物『リサイクル報』を隔月に発行し、町会回覧、区内施設での配布をとおして、区のリサイクル事業の周知を図っている。								
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				リサイクル事業の周知と共に、リサイクル意識の高揚を図る。								
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか				区のリサイクルや清掃に関する方針、情報を掲載することにより、施策への理解・協力が得られている。								
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		部	144000	144000	144000		115000		144000			
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	6.3	16.2			18.7					
	成果指標(2)												
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,386	3,237	3,288		1,965		2,803			
	職員数(正規   非常勤)		人	0.20	0.20	0.20		0.22		0.20		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	1,815	1,815	1,815		1,996		1,815		
		非常勤職員分		千円	0	0	0		0		0		
	総事業費 + +		千円	5,201	5,052	5,103		3,961		4,618			
	単位あたりコスト ÷		円	36	35	35		34		32			
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都からの支出金		千円									
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 + +		千円	0	0	0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	5,201	5,052	5,103		3,961		4,618				
受益者負担比率 ÷		%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		リサイクル報については、区民に定期刊行物として定着している中、発行部数を見直し、より効率的に区民に周知できるよう努めた。また啓発用パネルについては、清掃管理課で作成・管理することとなった。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		リサイクル報については町会によって印刷物が十分に回覧されないことがあり、区報なみに各戸配布して欲しいとの要望がある。										
	今後の予測		清掃事業が区に移管されたことにより、区独自のリサイクル・清掃事業が期待されている。事業を起こす際に詳細を説明する場としてリサイクル報紙面の充実が望まれる。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		コンポスト容器購入費助成事業				整理番号	634		細番号	
所属部課名		環境清掃部リサイクル清掃課		コード	230302	連絡先電話番号	4123		昨年度整理番号	667
係名		リサイクル推進係			上位施策名				NO	
予算事業名		リサイクル推進		コード	56305	ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			14	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		4年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 杉並区コンポスト容器購入者助成要綱			
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区が斡旋するコンポスト容器購入者		(2)			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		上記購入者が申請し、区がコンポスト容器の半額を助成金として申請者に支払う。		活動指標名(式)		(1) 助成受給者			
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		リサイクル意識の高揚を促すとともに、ごみの減量化を図る。		成果指標名(式)		(1) 0.7kg×365日×あっせん累積台数(年間の生ごみ減量)			
								(2) あっせん累積台数		
								(2)		
								(1) 0.7kg×365日×あっせん累積台数(年間の生ごみ減量)		
								(2)		
								意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか		
								ごみ減量による最終処分場の延命化、清掃コストの軽減。資源循環型社会の形成。		
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	人	179	152	140	71	200			
	活動指標(2)	台	1594	1746	1886	1817	2017			
	成果指標(1)	kg	407,267	446,103	481,873	464,244	515,344			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	565	482	512	244	712			
	職員数(正規 非常勤)	人	0.15	0.25	0.10	0.11	0.15	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,361	2,268	907	998	1,361		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++	千円	1,926	2,750	1,419	1,242	2,073			
	単位あたりコスト ÷	円	10,759	18,094	10,138	17,493	10,365			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	1,926	2,750	1,419	1,242	2,073			
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	コンポスト容器購入費助成実績 平成4年度 563件 平成12年度 71件								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	出来た堆肥を区で引き取って欲しいという声有一部分にある。								
	今後の予測	コンポスト容器購入費助成件数がここ数年減少の傾向にあり、今後も漸減することが予想される。しかしごみ減量には有効な手段である。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		生ごみ処理機購入費助成事業				整理番号	635		細番号					
所属部課名		環境清掃部リサイクル清掃課		コード	230302		連絡先電話番号	4123		昨年度整理番号	668			
係名				リサイクル推進係				上位施策名			NO			
予算事業名				リサイクルの推進		コード	56305		ごみ発生抑制及びリサイクルの推進			14		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		9年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				●無 ○有		平成		年度		(1) 杉並区家庭用生ごみ処理機購入者助成要綱			
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		家庭用生ごみ処理機購入者		(2)					
									(3)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				上記購入者が必要書類を添付して申請し、区が交付決定の審査をする。請求書を徴して区が生ごみ処理機購入費の半額(上限20,000円)を助成金として申請者に支払う。				活動指標名(式)				(1) 助成受給者	
												(2) 応募者数		
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				リサイクル意識の高揚を促すとともに、ごみの減量化を図る。				成果指標名(式)				(1) 0.7kg×365日×助成累積台数(年間の生ごみ減量)		
												(2)		
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												ごみ減量化による処分場の延命化、清掃コストの軽減。		
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%					
				計画	実績		年度							
指標	活動指標(1)	人	54	60	60	61	100							
	活動指標(2)	人	264	243	400	299	300							
	成果指標(1)	kg	29,127	44,457	59,787	60,043	85,593							
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,077	1,200	1,220	1,193	2,020							
	職員数(正規 非常勤)	人	0.15	0.25	0.10	0.11	0.15	特記事項						
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,361	2,268	907	998	1,361						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++	千円	2,438	3,468	2,127	2,191	3,381							
	単位あたりコスト ÷	円	45,147	57,804	35,455	35,919	33,810							
	財源	受益者負担分	千円											
		国・都からの支出金	千円											
		その他特定財源	千円											
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0						
差引:一般財源 -		千円	2,438	3,468	2,127	2,191	3,381							
受益者負担比率 ÷	%													
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	生ごみ処理機購入費助成応募件数 平成9年度 197件 平成10年度 264件 平成11年度 243件 平成12年度 299件 出荷台数(平成12年8月19日読売新聞調べ) 平成11年度26万台 平成12年度40万台 平成15年度100万台の見込み												
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	問合せが非常に多く、助成件数、金額を増やして欲しいまたは消耗品についても行政が負担して欲しいなどの要望がある。												
	今後の予測	各メーカーから多くの機種が販売され、機能の向上も目覚ましいものがあり、生ごみ処理機という電化製品が区民に認知されつつある。今後も生ごみ処理機の需要は大幅に伸びるものと思われる。												

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		あき缶回収機の運営				整理番号	636		細番号	
所属部課名		環境清掃部リサイクル清掃課		コード	230302		連絡先電話番号	4123		
係名		リサイクル推進係				上位施策名	NO			
予算事業名		リサイクルの推進		コード	56305		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進		14	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		4年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有		平成 12年度		(1)			
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		家庭から排出される缶をリサイクルしようとする個人。学校のもの、教育的配慮により設置された。		(2)			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		事業の廃止に伴い、回収機を撤去した。		活動指標名(式)		(3)			
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）		別のリサイクルルートができたことにより事業を廃止。		成果指標名(式)		(1) 設置台数			
						(2)				
						(1) 回収量				
						(2)				
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	台	8	8	0	0	0			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	kg	6260	5821	0	0	0			
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,160	1,156	140	155	0			
	職員数(正規   非常勤)	人	0.10	0.10	0.00	0.00	0.00		特記事項 あき缶回収機で回収した缶について、11年度まで回収委託を行っていたが、12年度に撤去・譲渡を行った。	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	907	907	0	0	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	2,067	2,063	140	155	0			
	単位あたりコスト ÷	円	258,413	257,913						
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	2,067	2,063	140	155	0			
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	回収量の推移 7年度 5,570kg 11年度 5,821kg								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	学校ではPTAの行う集団回収団体等が、回収した缶を引き取っていたが、継続して使用できる見込みのところが少ない。								
	今後の予測	インセンティブのないあき缶回収機の利用については、拡大することは考えられない。また、費用対効果を考えても再開することはない。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		リサイクル協会運営				整理番号	637		細番号					
所属部課名		環境清掃部リサイクル清掃課		コード	230302		連絡先電話番号	4123		昨年度整理番号	670			
係名		リサイクル推進係				上位施策名				NO				
予算事業名		リサイクルの推進		コード	56305		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進				14			
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		6年度		根拠法令等					<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業		
	事業終期		○無 ○有		平成 年度		(1) 杉並リサイクル協会補助金交付要綱							
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		杉並リサイクル協会		(2)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		リサイクル協会の支出経費61,415,625円の内49,278,702円(80.24%)を補助金として支出した。				活動指標名(式)							
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか)		行政と住民、事業者が単独では充分に取組みにくい事業等において協同を図り、協議の場を設け、リサイクル事業の全般的な発展を目指す。				成果指標名(式)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												リサイクル意識の高揚を図ることによりごみの発生抑制に寄与している。		
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度		目標値	目標値に対する12年度の達成率%				
					計画	実績	計画	年度						
指標	活動指標(1)		人	345	744	800	1455	1,340						
	活動指標(2)		件	45,627	50,590	33,600	36,447	1,680						
	成果指標(1)		%	1.2	3.2	3.2	3.2	3.2						
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	28,410	31,182	59,702	49,279	52,076						
	職員数(正規   非常勤)		人	0.20   0.00	0.50   0.00	0.50   0.00	0.55   0.00	0.60		特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	1,815	4,537	4,537	4,990	5,444		事業費は補助金額 不用品取扱品@80kg 家具類@80kg 13年度の活動指標(2)の計画値が低いのは阿佐谷のショップを12年度限りで閉鎖し預かり手数料の件数が減少したため。				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0						
	総事業費 ++		千円	30,225	35,719	64,239	54,269	57,520						
	単位あたりコスト ÷		円	87,608	48,009	80,298	37,298	42,925						
	財源	受益者負担分		千円	1,246	2,281	2,265	3,439	1,807					
		国・都からの支出金		千円	0	0	0	0						
		その他特定財源		千円	0	0	0	0						
		特定財源計 ++		千円	1,246	2,281	2,265	3,439	1,807					
差引:一般財源 -		千円	28,979	33,438	61,974	50,830	55,713							
受益者負担比率 ÷		%	4.1	6.4	3.5	6.3	3.1							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成6年に協会設立。リサイクルショップの運営を行う。平成11年度にリサイクルひろばを開設、事業を拡大した。平成12年度より集団回収事業を区の業務から受託。平成13年3月末、リサイクルショップ閉鎖。											
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		長期化する低成長下での安価な中古品への要望は多い、併せて、環境・資源保護の観点からの資源再利用の要望も多い。区民の期待は大きい。											
	今後の予測		法人(NPO)化を検討している。今後は事業収入、受託事業収入、寄付金収入による運営を目指す。											

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		集団回収事業				整理番号	638		細番号		
所属部課名		環境清掃部リサイクル清掃課		コード	230302	連絡先電話番号	4123		昨年度整理番号	664	
係名		リサイクル推進係			上位施策名				NO		
予算事業名		リサイクルの推進		コード	56305	ごみの発生抑制及びリサイクルの推進				14	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		4年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成 年度		(1) 集団回収実施団体報奨金支給要綱(杉並リサイクル協会)				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		リサイクルに取り組む10世帯以上の住民がつくる集団回収登録団体		(2)				
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		リサイクル活動に熱心な住民がつくる集団回収登録団体は、びん・缶・古紙・布などを回収し、資源回収業者に引き渡す。報告書のある回収量に応じた報奨金を受ける。この事業の事務は、平成12年度から杉並リサイクル協会が行っている。				活動指標名(式)				
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		住民による主体的な資源回収により、優良な資源を多く集め、ごみの減量とリサイクルの推進を図る。				成果指標名(式)				
		意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか									
		優良な資源を多く集めることにより、ごみの減量とリサイクルの推進に寄与している。また、住民主体の活動であり、リサイクル意識の向上、コミュニティ形成の推進のみならず、区経費も非常に少なくすむ。									
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
指標	活動指標(1)	団体	611	595	223		223	235			
	活動指標(2)	世帯	1,098,808	111,964	54,411		54,411	59,205			
	成果指標(1)	kg	8,464,379	5,265,422	4,800,000		4,292,212	4,500,000			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	104,738	45,081	22,323		20,441	27,997		
	職員数(正規・非常勤)		人	2.20	1.70	0.11		0.11	0.00	特記事項 3種類あった集団回収事業を平成11年6月末で統廃合し、1種類にした。また、平成12年度から集団回収に関する事務を杉並リサイクル協会で行っており、報奨金も杉並リサイクル協会の補助金に算入されている。	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	19,961	15,424	998		998	0		
		非常勤職員分	千円	0	0	0		0	0		
	総事業費 ++		千円	124,699	60,505	23,321		21,439	27,997		
	単位あたりコスト ÷		円	204,089	101,689	104,579		96,139	119,136		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0		0		0
		国・都からの支出金		千円	0	0	0		0		0
		その他特定財源		千円	0	0	0		0		0
		特定財源計 ++		千円	0	0	0		0		0
差引:一般財源 -		千円	124,699	60,505	23,321		21,439	27,997			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		事業開始の経緯等から3種類あった集団回収を最も経費がかからず、住民の自主性を重視した事業に一本化し、その上で杉並リサイクル協会へ事務を移した。事業の一本化は、清掃の資源回収事業(東京ルール1)の開始と並行して行われたため、高齢化した団体や意欲の低下した団体は、身近な集積所で行われる資源回収事業の開始をきっかけに集団回収を廃止してしまった。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		3種類あった集団回収事業のうち、廃止した2種類は資源回収業者に回収車両経費を払っていたが、一本化した事業では、回収車両経費を払っていないため、集団回収団体が得られる売上金が減少することに反対した意見が多かった。								
	今後の予測		集団回収事業は良好な資源の回収とごみ減量に寄与している。また、住民の自主的活動の推進という観点からも推進されるべき。								



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		リサイクルショップ維持管理				整理番号	639		細番号			
所属部課名		環境清掃部リサイクル清掃課		コード	230302	連絡先電話番号	4123		昨年度整理番号	671		
係名		リサイクル推進係			上位施策名				NO			
予算事業名		リサイクルの推進		コード	56305	ごみの発生抑制及びリサイクルの推進				14		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		5年度		根拠法令等				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期		○無 ●有		平成 12年度		(1) 杉並リサイクル協会補助金交付要綱					
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)							
	リサイクル協会		リサイクルショップすぎなみ		(3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		リサイクルショップ維持管理費として1,456,350円を支出。				活動指標名(式)					
						(1) 延べ床面						
						(2)						
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		各家庭で不用になった生活雑貨等の委託販売を行う。不用品の再利用を図ることにより資源の有効活用を促進する拠点とする。				成果指標名(式)						
						(1) 平方メートルあたり維持費						
						(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												
資源の有効活用を行うことにより、廃棄物の減量に寄与した。												
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度	年度				
指標	活動指標(1)	m <sup>2</sup>	158	158	158	158	158					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	円	9,924	8,886	9,892	9,215	11,253					
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,568	1,404	1,563	1,456	1,778					
	職員数(正規   非常勤)	人	0.00   0.00	0.00   0.00	0.00   0.00	0.00   0.00	0.00   0.00	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	0	0				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	1,568	1,404	1,563	1,456	1,778					
	単位あたりコスト ÷	円	9,905	8,886	9,892	9,215	11,253					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0					
		国・都からの支出金	千円	0	0	0	0					
		その他特定財源	千円	0	0	0	0					
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	1,568	1,404	1,563	1,456	1,778					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0							
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	平成5年に開設、平成6年より協会で運営。平成10年より受け付け手数料を徴収。平成12年、近隣に民間のリサイクルショップが増加したこと等からショップの目的等について再確認。リサイクル意識の浸透という初期の目的を果たしたと判断。平成13年3月末にショップを閉鎖した。リサイクル協会事務局の事務室、リサイクル関連情報の提供場所として運用する。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	環境・資源保護の観点からの資源再利用の拠点としての要望はショップ閉鎖の後も多い。										
	今後の予測	協会は法人(NPO)化を検討している。平成15年度に開設を予定している複合施設に移転を予定している。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		リサイクルひろば高井戸維持管理				整理番号	640		細番号								
所属部課名		環境清掃部リサイクル清掃課		コード	230302		連絡先電話番号	4123		昨年度整理番号	672						
係名				リサイクル推進係				上位施策名			NO						
予算事業名				リサイクルの推進				コード			56305		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進		14		
事務事業の概要	事業開始年度				○昭和 ●平成		11		年度		根拠法令等			<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業	
	事業終期				●無 ○有		平成		年度		(1) 杉並リサイクル協会補助金交付要綱						
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2)										
	杉並リサイクル協会				リサイクルひろば高井戸		(3)										
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				ひろば維持管理費として38,978,663円を支出。						活動指標名(式)						
											(1) 延べ床面積						
										(2)							
意図（対象をどのような状態にしたいのか）				各家庭で不用になった使用可能な家具等の無料提供品を収集し、簡単な修理・清掃をした後、展示販売する場。物を大切に する風潮を育て、使い捨てではなく資源の有効利用を促進して いく拠点とする。						成果指標名(式)							
										(1) 平方メートルあたり維持費							
										(2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか												粗大ごみを減少させ、資源の有効活用に道を開いた。					
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度				13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%						
				計画	実績	計画	実績		年度								
指標	活動指標(1)		m <sup>2</sup>	751		751		751		751							
	活動指標(2)																
	成果指標(1)		円	70,053		58,571		51,902		53,585							
	成果指標(2)																
総事業費・コスト把握	事業費		千円	52,610		43,987		38,979		40,243							
	職員数(正規・非常勤)		人		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	特記事項						
	人件費	職員分(超勤分含む)		千円	0		0		0		0		平成11年11月開設。				
		非常勤職員分		千円	0		0		0		0						
	総事業費 ++		千円	52,610		43,987		38,979		40,243							
	単位あたりコスト ÷		円	70,053		58,571		51,903		53,586							
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0		0						
		国・都からの支出金		千円	0		0		0		0						
		その他特定財源		千円	0		0		0		0						
		特定財源計 ++		千円	0		0		0		0						
差引:一般財源 -		千円	52,610		43,987		38,979		40,243								
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		利用者の推移 平成11年度月平均139件 平成12年度月平均137件														
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		粗大ごみするには惜しい家具の取扱や、リサイクル品の購入場所の問い合わせがあり期待は高い。														
	今後の予測		リサイクル意識は浸透してきている。民間のリサイクルショップが増加し、販売業者による引取りも増えている。本事業の需用は全体としては減少していくものと見込まれる。しかし、主力取扱品の木製家具(普及品)に対する要望は多く、公営施設への需用はしばらくは続くものと思われる。														

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		指導管理（事業用大規模建築物への指導）			整理番号	684	細番号					
所属部課名	環境清掃部リサイクル清掃課	コード	230301	連絡先電話番号	4124	昨年度整理番号	1045-1					
係名	作業係	上位施策名					NO					
予算事業名	指導業務	コード	56285	ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			14					
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	12	年度	根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成	年度	(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他	(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例									
	事業用延べ床面積 1,000㎡以上の大規模建築物の所有者、占有者、管理者				(3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 事業者に対する法令上の義務の周知及び履行				活動指標名(式)							
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 事業者に対し、廃棄物の発生抑制、再生利用、資源化による減量及び再生処理の確保				成果指標名(式)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか ごみの減量による、処理施設への負担の軽減				(1) 事業用ごみの再利用量				(2) 事業用ごみの再利用率				
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)	件			140	140	140					
	活動指標(2)											
	成果指標(1)	t				8,633						
	成果指標(2)	%				48						
総事業費・コスト把握	事業費	千円			889	16	400					
	職員数(正規・非常勤)	人			0.89	0.91	0.89	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	8,075	8,256	8,075	・指導管理 ・一般廃棄物マニフェスト制度の実施 ・事業者による再利用の推進			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++	千円	0	0	8,964	8,272	8,475					
	単位あたりコスト ÷	円			64,028	59,089	60,536					
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -	千円	0	0	8,964	8,272	8,475						
受益者負担比率 ÷	%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	廃棄物管理責任者の選任施設の増加に伴い、ごみの減量、適正処理が向上										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	不適正処理の減による環境衛生の向上										
	今後の予測	対象施設の拡大による(飲食店等)事業系廃棄物の減量										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ふれあい指導				整理番号	685		細番号				
所属部課名	環境清掃部リサイクル清掃課			コード	230301	連絡先電話番号	4124		昨年度整理番号	1045-2			
係名	作業係			上位施策名					NO				
予算事業名	指導業務			コード	56285		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			17			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業								
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第19条								
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民及び区内事業者				(2) 廃棄物の処理及び清掃に関する施行規則第15条								
					(3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例第66条								
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 集積所単位でごみの適正排出、及び事業系有料ごみ処理券貼付(受益者負担)の指導を計画的に実施する。				活動指標名(式) (1) 集積所指導件数  (2)								
意図（対象をどのような状態にしたいのか） ・可燃、不燃、資源の分別排出の徹底及びごみ減量、リサイクルの推進 ・今後実施を計画している廃プラスチックの分別回収事業の円滑な遂行				成果指標名(式) (1) 不燃ごみの資源の混入率  (2) 資源化率									
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 分別の徹底による、効率的な資源化の推進・ごみの減量・集積所環境の保持													
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
					計画	実績		年度					
指標	活動指標(1)		件			1,955	1,984	2,500					
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%				10.7						
	成果指標(2)		%				18.5						
総事業費・コスト把握	事業費		千円			24,470	10,639	10,149					
	職員数(正規・非常勤)		人			11.39	11.50	11.39	特記事項 ・医療系廃棄物対策・清掃パトロール・ふれあい指導				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	103,341	104,340	103,341					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	0	0	127,811	114,979	113,490					
	単位あたりコスト ÷		円			65,377	57,953	45,396					
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都からの支出金		千円									
		その他特定財源		千円									
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	127,811	114,979	113,490						
受益者負担比率 ÷		%											
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		混在排出による取り残し、事業系ごみの有料ごみ処理券未貼付、容量不足。										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		不適正排出を特定するため、ごみの内容調査についてプライバシーの侵害との苦情もあったが、指導を継続する中で住民の理解が得られた。										
	今後の予測		廃プラスチック(容器包装リサイクル法対象)、の分別収集実施に伴う排出指導の充実が必要となる。										

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通事故処理対策				整理番号	687		細番号		
所属部課名	環境清掃部リサイクル清掃課			コード	230301	連絡先電話番号	4124		昨年度整理番号	1047	
係名	作業係			上位施策名					NO		
予算事業名	指導業務			コード	56285		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			17	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 民法第715条						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 自動車事故の被害者、加害者他関係者				(2)						
					(3)						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 自動車事故が発生した場合の保険会社との連絡、現場での調整等、また、事故処理協力者への謝礼、見舞金等の支出を行う。				活動指標名(式) (1) 清掃車両の年間 交通事故件数 (2)						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 事故発生後に適正な処理をする。また、被害者に対するの救済措置を迅速に行うことによって、一日も早い元の生活環境の回復を図る。そして、その事故を一つの事例として、その後の交通安全対策に資することにより、事故の件数の減少を図る。				成果指標名(式) (1) 清掃車両の交通事故件数の減少 (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 万一の対策を想定し、備えることでごみ収集のサービス向上に貢献する。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		件			11	11	0			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)										
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			3,622	3,517	3,564			
	職員数(正規・非常勤)		人			0.55	0.55	0.65		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	4,990	4,990	5,897			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	8,612	8,507	9,461			
	単位あたりコスト ÷		円				773,377	860,132			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	8,612	8,507	9,461				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		本年度、庁有自動車事故の事務処理要綱を作成し、事故処理に際し、緊急に必要な入院保証金、弔慰金、見舞金などを資金前途で現金化しておき、迅速に対応できるようになった。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		事故処理担当者、契約保険会社により迅速な対応を心掛けているので、特に苦情、要望などはない。								
	今後の予測		交通安全対策、交通安全教育など進め、事故防止対策を図っていくが、事故発生の可能性は引き続き残る。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ペットボトル回収				整理番号	692		細番号			
所属部課名	環境清掃部リサイクル清掃課			コード	230301	連絡先電話番号	4124		昨年度整理番号	1054		
係名	作業係			上位施策名					NO			
予算事業名	ごみ収集作業等			コード	56295		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			14		
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業							
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 ペットボトル排出者				(2) 容器包装リサイクル法							
					(3)							
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） ペットボトルを回収協力店の店頭より回収し、容器包装リサイクル法に基づく、指定法人ルートによる資源化を行う。				活動指標名(式)							
					(1) ペットボトルの回収量							
				(2) ペットボトル回収店舗数								
意図（対象をどのような状態にしたいのか） ペットボトルを不燃ごみとして処理せずに資源化をする。				成果指標名(式)								
				(1) ペットボトル回収率								
				(2)								
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 不燃ごみの減量と環境の保全を推進する。												
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績			16 年度			
指標	活動指標(1)		t			422	407	558		800	50.9	
	活動指標(2)						256	300		400	64.0	
	成果指標(1)		%			31	27	35				
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円			180,072	82,044	90,210				
	職員数(正規・非常勤)		人			0.40	0.43	0.29		特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	3,629	3,901	2,631				
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 ++		千円	0	0	183,701	85,945	92,841				
	単位あたりコスト ÷		円			435,311	211,168	166,382				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都からの支出金		千円								
		その他特定財源		千円								
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	0	0	183,701	85,945	92,841					
受益者負担比率 ÷		%										
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		店頭回収の拠点数が、開始当初から伸び悩んでいる。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		店頭回収だけでなく、集積所で回収することへの要望もある。									
	今後の予測		回収量を増やしても、製造メーカーの生産量が増加し、回収コストが増大していく。									

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		びん・缶・古紙回収				整理番号	693		細番号		
所属部課名	環境清掃部リサイクル清掃課			コード	230301	連絡先電話番号	4124		昨年度整理番号	1055	
係名	作業係			上位施策名					NO		
予算事業名	ごみ収集作業等			コード	56295		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			14	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 11 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区内一般家庭及び事業者				(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 飲食用のびん・缶・古紙の資源を区内のごみ集積所で週1回収する。				活動指標名(式) (1) 資源回収量						
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 可燃・不燃ごみとして排出されていた資源を分別回収することにより、資源の有効利用とごみの減量を推進する。				成果指標名(式) (1) 資源化率						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 資源回収の推進により、ごみとして処理していたものをより多く資源として、活用することができる。また、ごみの減量は最終処分場の延命化に大きく寄与する。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		16年度			
指標	活動指標(1)		t	5,693	25,553	26,847	26,852	30,463	88.1		
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%			18.5					
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	235,758	979,662	783,195	875,279				
	職員数(正規・非常勤)		人	2.50	31.63	23.00	34.28	23.00	27.79	14.00	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	22,683	286,979	311,022	252,139	特記事項		
		非常勤職員分	千円	0	0	67,597	67,597	41,146			
	総事業費 ++		千円	0	258,441	1,334,238	1,161,814	1,168,564			
	単位あたりコスト ÷		円		45,396	52,215	43,275	43,519			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円		41,070	72,350	58,570			55,721
		特定財源計 ++		千円	0	41,070	72,350	58,570			55,721
差引:一般財源 -		千円	0	217,371	1,261,888	1,103,244	1,112,843				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成7年度から拡大実施してきた分別回収事業(びん・缶)の回収が、平成11年6月28日から都・清掃事務所と共同で実施した「東京ルール」に統合され、びん・缶に加え古紙も回収品目として区内全域のごみ集積所で週1回収することとなった。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		・びん・缶回収用コンテナの住民による管理が負担であるとの苦情がある。 ・古紙回収において、区が委託した業者以外の者の持ち去りが横行しており、持ち去り業者の排除を望む声が寄せられている。								
	今後の予測		びん・缶・古紙の集積所回収が始まり、2年経過し、住民の間に定着しつつある。他のごみへの混入率もそれほど多くない。回収量等大幅に変化することはないと考えられる。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		特定家庭廃棄物モデル回収				整理番号	694		細番号		
所属部課名		環境清掃部リサイクル清掃課		コード	230301	連絡先電話番号	4123		昨年度整理番号	1056	
係名		リサイクル推進係			上位施策名				NO		
予算事業名		ごみ収集作業等		コード	56295	ごみの発生抑制及びリサイクルの推進				14	
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期		<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 廃棄物の処理および清掃に関する法律				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		家庭から排出されるもののうち、有害化学物質等を分別収集し、適正な処理・再利用を行うことを検討したが、法的課題が解決できず事業は行えなかった。清掃事業で回収できないものなど、住民の排出ルールを徹底するため小冊子等を作成、配布した。				(3)				
	活動指標名(式)		(1) 有害化学物質の回収量				(2) 小冊子の作成部数				
意図（対象をどのような状態にしたいのか）		家庭で処分に困っている有害化学物質等を適正に処理・再利用する。				成果指標名(式)				(1) 不燃ごみ中の特定家庭廃棄物の割合	
										(2)	
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 有害化学物質等の「排出禁止物」は、本来ごみとして排出してはいけないものである。ごみ質の安全性の確保に貢献する。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		kg			42000	0				
	活動指標(2)		冊			0	300000				
	成果指標(1)		%				1.47				
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			3,777	2,993				
	職員数(正規・非常勤)		人			0.65	0.65			特記事項 小冊子配布経費については、緊急雇用対策で経済勤労課にしている。不燃ごみ中の特定家庭廃棄物の割合は、中継所搬入ごみ組成調査によるが、残量のあるもののうち多くが乾電池であった。	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	5,897	5,897	0			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	9,674	8,890	0			
	単位あたりコスト ÷		円			230					
	財源	受益者負担分		千円				0			
		国・都からの支出金		千円				0			
		その他特定財源		千円				0			
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	9,674	8,890	0				
受益者負担比率 ÷		%				0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化										
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		乾電池の回収をしてほしい旨の要望が寄せられた。								
	今後の予測		単独の自治体で取り組むには、法的枠組みなどの問題もあり難しい。複数自治体や都・国レベルでの検討が必要である。並行して事業者責任の追及、消費者意識の変革なども課題である。								



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ごみ収集		整理番号	695	細番号		
所属部課名	環境清掃部リサイクル清掃課	コード	230301	連絡先電話番号	4124	昨年度整理番号	1057	
係名	作業係	上位施策名				NO		
予算事業名	ごみ収集作業等	コード	56295	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				17
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	12	年度	根拠法令等			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期	<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有	平成	年度	(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	区内一般家庭及び事業者（日量50kg未満）		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例			
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）	廃棄物を分別して排出された可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみなどをごみ集積所等から収集する。			活動指標名(式)			(1) ごみ量
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）	廃棄物の発生を抑制し、廃棄物を適正に収集することにより、良好な生活環境の保持する。			成果指標名(式)			(1) ごみ量減量率
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 生活環境の保全を推進する。								

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		23	年度		
指標	活動指標(1)	t			154,008	138,608	181,164	126,770	91.5	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%			100	90	118	79	91.5	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円			1,128,104	1,020,320	976,338			
	職員数(正規 非常勤)	人			197.61	38.00	210.07	38.00	197.21	43.00
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,792,916	1,905,965	1,789,286	特記事項	
		非常勤職員分	千円	0	0	111,682	111,682	126,377		
	総事業費 ++	千円	0	0	3,032,702	3,037,967	2,892,001			
	単位あたりコスト ÷	円			19,692	21,918	15,963			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円			435,878	505,866	468,188		
		特定財源計 ++	千円	0	0	435,878	505,866	468,188		
差引: 一般財源 -		千円	0	0	2,596,824	2,532,101	2,423,813			
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	ごみ量は景気にも左右されるため、ここ数年減少していた。特に一昨年6月28日から開始した区内全域での資源回収により、可燃ごみ収集を週3回から2回に減じた結果、可燃ごみの減量化は進んでいる。ただし、資源も含めた総量においては、微増の傾向にある。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	カラスによる集積所周辺のごみの散乱を防ぐため、収集時間を早めてほしいなどの要望がある。								
	今後の予測	景気回復によるごみ量の増加も予想されるが、新たにプラスチック類の資源化や粗大ごみの再利用などを検討し、減量化を図る。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃協定会				整理番号	683		細番号		
所属部課名		清掃事務所		コード	230630	連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	1044	
係名					上位施策名				NO		
予算事業名					普及啓発		コード	56280		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上	17
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区西清掃協定会々則 杉並区東清掃協定会々則						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 西・東清掃協定会				(2) 杉並区西清掃協定会婦人部規約 杉並区東清掃協定会女性部規約						
					(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 清掃思想の普及、環境美化、ごみの再利用の促進及び減量化、排出ルールの普及などの活動を行う。				活動指標名(式) (1) 清掃懇談会及び婦人部会等参加者数 (2)						
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) すべての区民、事業者が清掃に関する理解を深め、ごみの再利用の促進や適正排出、減量化に積極的に取り組む。				成果指標名(式) (1) 資源化率 (ごみ量中の資源の率) % (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 資源循環型社会づくりに貢献している。											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績		17年度	年度		
指標	活動指標(1)		人			870	966	930	950	101.7	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		%			15.5	17.17	18	20	85.9	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			708	708	708			
	職員数(正規 非常勤)		人			0.62	0.62	0.42	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	5,970	5,970	4,156			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	6,678	6,678	4,864			
	単位あたりコスト ÷		円			7,676	6,913	5,230			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 ++		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	6,678	6,678	4,864				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		区部(23区)のごみ量(単位:千トン) 平成元年度 4,901 平成5年度 4,400 平成10年度 3,925 平成12年度 3,501 資源化率(ごみ収集量中の資源の率)平成11年度6月から開始 平成11年度 13.2% 町会を母体とした協定会への加入率の低下がある。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)		協会の役員は、町会組織の清掃事業担当として地域で活動していることから、地域住民からの信頼が高い。またちらし配布・ごみの排出指導など事務所への協力度も高い。								
	今後の予測		区民のごみに対する要望は多様化・複雑化し、また、資源循環型社会システムの構築が進む。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃事務所維持運営				整理番号	688		細番号	1
所属部課名		西清掃事務所		コード	230630	連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	1048
係名				上位施策名					NO	
予算事業名		西清掃事務所維持運営		コード	56290	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				17
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 消防法					
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 西清掃事務所、下井草分室の維持運営。				(2) 建築基準法					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 西清掃事務所、下井草分室の各庁舎の維持管理及び運営を行う。設備の保守委託・修理。				(3) 電気事業法					
	意図（対象をどのような状態にしたいのか） 建物、設備等を適正に保守管理するとともに、光熱水費等維持管理費を抑制する。				(4) 地方自治法第281条					
活動指標名(式)				(1) 建物面積(m <sup>2</sup> )						
				(2)						
成果指標名(式)				(1)						
				(2)						
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 建替時まで現施設の経費を最小に抑え、保持していく。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度	年度		
指標	活動指標(1)	m <sup>2</sup>			1387.66	1387.66	1387.66			
	活動指標(2)									
	成果指標(1)									
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円			67,559	61,431	59,245			
	職員数(正規   非常勤)	人			4.20	4.20	4.20	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	38,107	38,107	38,107		
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +	千円	0	0	105,666	99,538	97,352			
	単位あたりコスト ÷	円			76,147	71,731	70,155			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	105,666	99,538	97,352			
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	12年度より東京都から事業移管。建物の老朽化や分室に分けなければならない手狭さなどの課題がある。 西清掃事務所は昭和41年6月建築 784.70m <sup>2</sup> 下井草分室は昭和58年9月建築 602.96m <sup>2</sup>								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)									
	今後の予測	ごみ量の動向、リサイクルの推進如何などにより、事務所の人員体制も今後変化すると見込まれる。また、庁舎の建築後の年数が経過するにつれ、修繕費が増加する。 なお、平成18年度からの後期基本計画で政策予定。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並中継所維持運営				整理番号	689		細番号		
所属部課名		西清掃事務所		コード	230630	連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	1049	
係名				上位施策名					NO		
予算事業名		西清掃事務所維持運営		コード	56290	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				17	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律						
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 杉並中継所の維持運営				(2) 廃棄物の処理及び再利用に関する条例						
					(3) 清掃事業移管協定						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 中継所施設・設備の保守委託等維持管理				活動指標名(式) (1) 建物面積(m <sup>2</sup> )  (2)						
意図（対象をどのような状態にしたいのか） 建物・設備等を適正に保守管理するとともに、光熱水費等維持管理費を抑制する。				成果指標名(式) (1)  (2)							
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 清掃事業の効果的・効率的な運営											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%	
					計画	実績			年度		
指標	活動指標(1)		m <sup>2</sup>			6311.7	6311.7	6311.7			
	活動指標(2)										
	成果指標(1)										
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			34,321	20,155	29,921			
	職員数(正規   非常勤)		人			1.50	1.50	1.50		特記事項	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	13,610	13,610	13,610			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	0	0	47,931	33,765	43,531			
	単位あたりコスト ÷		円			7,594	5,350	6,897			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円							
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	0	0	47,931	33,765	43,531				
受益者負担比率 ÷		%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度より、東京都から事業移管。 平成8年3月竣工								
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		中継所の役割、事業成果が正当に評価されている一方で、井草森公園周辺環境問題に関連して、中継所の廃止を主張する意見が一部にある。								
	今後の予測		事業目的、成果を十分に果たしている。今後は、プラント、中継所設備の修繕等の維持管理経費が増大していくので、建物のライフサイクルコストを考え、適時適切な修繕が望まれる。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		不燃ごみ中継作業				整理番号	696		細番号	
所属部課名		西清掃事務所		コード	230630	連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	1058
係名				上位施策名					NO	
予算事業名				ごみ収集作業等		コード	56295		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業					
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律					
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区及び中野区、練馬区において収集した不燃ごみ				(2) 廃棄物の処理及び再利用に関する条例					
					(3) 清掃事業移管協定					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 23区全体の広域的な施設である中継所の1つとして、杉並区及び中野区、練馬区において収集した不燃ごみの積替作業を行っている。 なお、この積替により最終処分場まで行く清掃車を約8分の1に減らしている。				活動指標名(式) (1) 3区全体の不燃ごみ中継量 (2)					
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 経費の節減、不燃ごみのより効率的な処理を行う。				成果指標名(式) (1) 不燃ごみ中継比率 (2)					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 環境負荷(交通量、二酸化炭素)の低減に貢献している。										
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%	
				計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)	t			58500	51500	56640	54000	88.0	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	%			71	74.4	76		104.8	
	成果指標(2)									
総事業費・コスト把握	事業費	千円			647,796	604,174	733,922			
	職員数(正規 非常勤)	人			12.30	6.00	12.30	6.00	特記事項 目標値の作業日数 300日 13年度の作業日数 309日 (年末年始収集日を12/30~1/3とした)12年度実績には軽小型車を含む	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	111,598	111,598	111,598		
		非常勤職員分	千円	0	0	17,634	17,634	17,634		
	総事業費 ++	千円	0	0	777,028	733,406	863,154			
	単位あたりコスト ÷	円			13,283	14,241	15,239			
	財源	受益者負担分	千円							
		国・都からの支出金	千円							
		その他特定財源	千円							
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -	千円	0	0	777,028	733,406	863,154				
受益者負担比率 ÷	%									
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	収集車の積載量見直し、資源ごみ収集開始により、増減はあるものの、成果指標は向上傾向にある。								
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	中継所の役割、事業成果が正当に評価されている一方で、井草森公園周辺環境問題に関連して、中継所の廃止を主張する意見が一部にある。								
	今後の予測	不燃ごみ量の減小は頭打ちであるが、今後の資源ごみ回収のやり方等によっては、更なる減少も見込まれる。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ごみ処理手数料徴収		整理番号	697	細番号			
所属部課名		清掃事務所	コード	230630	連絡先電話番号	3392-7281	昨年度整理番号	1059	
係名			上位施策名				NO		
予算事業名			ごみ収集作業等	コード	56295	ごみの発生抑制及びリサイクルの推進		14	
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	12年度		根拠法令等		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業
	事業終期			<input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/> 有	平成年度		(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例(44～51条)		
	対象			<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(2) 廃棄物の処理及び再利用に関する規則(30～45条)			
	区民全体、区内事業者及びごみ処理券取扱所			(3) 廃棄物処理手数料の徴収に関する取扱要綱					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)				活動指標名(式)				
ごみ処理手数料を徴収する。徴収方法としては、ア、有料シールによるもの イ、現金によるもの ウ、納入通知書によるものがある。				(1) 廃棄物処理手数料の収入済額					
意図(対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)					
有料シール取扱所数の適正配置をおこない、利便性を高める。粗大ごみ処理手数料の収入未済を防ぐ。				(1) 廃棄物処理手数料の徴収率					
				(2) ごみ処理券取扱所の平均距離					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか									
区民及び事業者が、廃棄物処理手数料を適正に支払い、不正な排出を減らし負担の公平化を図る。									

区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%			
				計画	実績		17年度	年度				
指標	活動指標(1)	千円			210440	178295	148644	145000	123.0			
	活動指標(2)	店			389	389	400	400	97.3			
	成果指標(1)	%			98	97	98	99	99.0			
	成果指標(2)	m			292	296	292	292	101.4			
総事業費・コスト把握	事業費	千円			45,927	41,425	41,961	44,422				
	職員数(正規   非常勤)	人			2.80	2.80	2.35	特記事項				
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	25,404	25,404	21,322	12年度計画事業費は、リサイクル清掃課の総合経費			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +	千円	0	0	71,331	66,829	63,283					
	単位あたりコスト ÷	円			339	375	426					
	財源	受益者負担分	千円					148,558				
		国・都からの支出金	千円									
		その他特定財源	千円									
		特定財源計 + +	千円	0	0	0	0	148,558				
差引:一般財源 -	千円	0	0	71,331	66,829	-85,275						
受益者負担比率 ÷	%						234.8					

事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	事業系ごみの有料化は平成8年12月からスタートした。徐々に事業系ごみの適正なシール貼付がなされてきたが、さらなる適正化を図る必要がある。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	・不法投棄の対応 ・事業系ごみだけでなく、家庭ごみの有料化の声がある。
	今後の予測	家電4品目(テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン)を行政回収しなくなったため、それらの不法投棄が多くなることが予測されるので、その対策を検討する必要がある。

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		動物死体処理				整理番号	698		細番号		
所属部課名		清掃事務所		コード	230630	連絡先電話番号	3392-7281		昨年度整理番号	1060	
係名				上位施策名				NO			
予算事業名				西清掃事務所維持運営		コード	56290		健康を支える仕組みづくり	40	
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業						
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例(32条)						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 住民全体				(2) 廃棄物の処理及び再利用に関する規則(19条)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区民からの申込みに応じて、また都道上及び私有地等の動物死体を収集し、処理業者に引き渡す。				(3) 廃棄物処理手数料の徴収に関する取扱要綱						
	意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 住民ニーズにすみやかに対応し、生活環境衛生の向上及び区内美観の維持を図る。				活動指標名(式) (1) 処理頭数(件数)  (2)						
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 動物死体処理において、住民ニーズに迅速に対応することが出来るとともに、区内の環境衛生の向上、美観の維持にも貢献できる。				成果指標名(式) (1) 処理頭数(件数)  (2)						
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績		年度			
指標	活動指標(1)		頭			984	984	980		100.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		頭			984	984	980		100.0	
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円			2,510	150	2,626	118		
	職員数(正規 非常勤)		人			0.70	0.70	0.70	特記事項		
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	6,351	6,351	6,351			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	8,861	6,501	8,977			
	単位あたりコスト ÷		円			9,005	6,607	9,160			
	財源	受益者負担分		千円			1,820	1,724	1,898		
		国・都からの支出金		千円							
		その他特定財源		千円			67	52	841		
		特定財源計 ++		千円	0	0	1,887	1,776	2,739		
差引:一般財源 -		千円	0	0	6,974	4,725	6,238				
受益者負担比率 ÷		%			20.5	26.5	21.1				
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化										
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		自分が飼っている犬や猫でない、よその犬猫が私有地に入り込んで死んでいる場合、何故手数料を払わなければならないのかという苦情がある。(管理責任義務)								
	今後の予測		現在、都市整備部維持課所管で行われている区道上及び区立公園内の動物死体の収集と、清掃事務所が行っている都道上及び私有地等の動物死体収集を、清掃事務所ですべて一本化することにより区民サービスが向上する。								

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		東清掃事務所維持運営				整理番号	688		細番号	2		
所属部課名		東清掃事務所		コード		連絡先電話番号	3323-4571		昨年度整理番号	1048		
係名					管理係		上位施策名			NO		
予算事業名					事務所・事業所維持運営		ごみの発生抑制及びリサイクルの推進			14		
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業			
	事業終期				<input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 建築基準法 (2) 消防法 (3) 電気事業法 (4) 地方自治法第281条			
	対象				<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		東清掃事務所庁舎の維持運営					
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				清掃事務所の維持管理、設備の保守委託、修理		活動指標名(式)		(1) 建物面積 (㎡)  (2)			
	意図（対象をどのような状態にしたいのか）				建物、設備等を適正に保守管理するとともに、光熱水費等維持管理費を抑制する。		成果指標名(式)		(1)  (2)			
	意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか ISO14001の認証取得し、エネルギー消費を削減するとともに、修理経費の増大を防ぐ											
区分		単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
					計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		㎡			1875.64	1875.64	1875.64				
	活動指標(2)											
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円			40,384	36,390	45,224				
	職員数(正規   非常勤)		人			1.40	0.30	1.40	0.30	1.19	0.30	
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	12,702	12,702	10,797		特記事項 12年度の特定財源は、東西清掃事務所・事業所等の総計のため算出不可		
		非常勤職員分	千円	0	0	882	882	882				
	総事業費 + +		千円	0	0	53,968	49,974	56,903				
	単位あたりコスト ÷		円			28,773	26,644	30,338				
	財源	受益者負担分		千円			0	0	0			
		国・都からの支出金		千円			0	0	0			
		その他特定財源		千円			0	0	2,460			
		特定財源計 + +		千円	0	0	0	0	2,460			
差引:一般財源 -		千円	0	0	53,968	49,974	54,443					
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		昭和54年度に建設され、平成9年度に外壁・屋根・機械設備等の改修工事を実施しているが、建物全体及びボイラーが老朽化している。									
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		騒音・振動・臭気・車両交通の苦情、要望は特段ない。									
	今後の予測		建築後の年数が経過するにつれ、修繕費が増加する。									



# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		し尿・粗大中継車両雇上				整理番号	699		細番号
所属部課名 東清掃事務所		コード	230731		連絡先電話番号	3323-4571		昨年度整理番号	1061
係名 作業係		上位施策名						NO	
予算事業名 ごみ収集作業等		コード	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上						17
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12年度		根拠法令等 <input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革対象事業				
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有		平成年度		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例第32条						
	し尿及び粗大ごみ		(3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 世田谷区が収集した(杉並区、世田谷区、板橋区)し尿を中継し、大井作業所に運搬し下水に放流する。また、区内の粗大ごみ(一部渋谷区も含む)を中継し、中央防波堤に運搬する。し尿・粗大ごみのいずれも雇上車両で運搬する。				活動指標名(式)				
				(1) 搬出したし尿量					
				(2) 搬出した粗大ごみ量					
意図 (対象をどのような状態にしたいのか) 便所の完全下水化による汲み取りの廃止及び粗大ごみのリサイクルにより収集量を減少させたい。				成果指標名(式)					
				(1) し尿運搬台数					
				(2) 粗大ごみ運搬車両台数					
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか 公衆衛生の向上を図り、搬入されたし尿・粗大ごみを効率よく最終処分場へ搬出する。									
区分	単位	10年度実績	11年度実績	12年度		13年度計画	目標値		目標値に対する12年度の達成率%
				計画	実績		17	年度	
指標	活動指標(1)	kl			3974	3931	3900	3800	103.4
	活動指標(2)	t			4158	4681	4144	4144	113.0
	成果指標(1)	台			321	311	313	305	102.0
	成果指標(2)	台			954	975	937	937	104.1
総事業費・コスト把握	事業費	千円			96,018	95,728	94,377	94,377	101.4
	職員数(正規 非常勤)	人			0.15	0.15	0.15	0.00	特記事項 粗大ごみ処理手数料の財源についてはあてこみ不詳(一般財源のみ)
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0	0	1,361	1,361	1,361	
		非常勤職員分	千円	0	0	441	0	0	
	総事業費 ++	千円	0	0	97,820	97,089	95,738		
	単位あたりコスト ÷	円			24,615	24,698	24,548		
	財源	受益者負担分	千円			0	0	0	
		国・都からの支出金	千円			0	0	0	
		その他特定財源	千円			0	0	0	
		特定財源計 ++	千円	0	0	0	0	0	
差引:一般財源 -		千円	0	0	97,820	97,089	95,738		
受益者負担比率 ÷	%			0.0	0.0	0.0			
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化	1 便所の下水道整備は進んでいるが、未だ93戸の汲み取り便所がある。 2 循環型社会形成推進基本法のもとで、家電リサイクル法(特定家庭用機器再商品化法)が平成13年4月1日から施行され、小売業者・製造業者にそれぞれリサイクルが義務付けられ、家電4品目については、粗大ごみが減少している。							
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	粗大ごみについては、収集回数を多くしたことで、収集までの日数が短縮され、区民から喜ばれている。							
	今後の予測	1 今後のまちづくりの中で、下水化が進む。 2 家電リサイクル法の徹底等で、粗大ごみの収集は徐々に減少するとされる。							

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃事業所の施設、建物の維持管理				整理番号	690		細番号					
所属部課名		環境清掃部清掃事業所		コード	230831	連絡先電話番号	3317-6771		昨年度整理番号	1050(1)				
係名 管理係				上位施策名				NO						
予算事業名 事務所・事業所維持運営				コード	56290	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				17				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 建築基準法									
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 清掃事業所 延床面積2,461,73㎡ 高井戸分室 延床面積749.1㎡ 高井戸分室車庫 延床面積1,488.95㎡ 計 4,699.78㎡				(2) 消防法									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				(3) 電気事業法									
	清掃事業所、高井戸分室及び高井戸分室車庫の維持管理、設備の保守委託、修理				活動指標名(式)									
意図 (対象をどのような状態にしたいのか)				成果指標名(式)										
施設、建物を常に良好な状態に保ち、清掃事業所の機能を最大限に発揮させる。				(1)										
				(2)										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか														
清掃車を確実に配車するための環境を整備し、清掃事業への信頼を高めている。														
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
							計画	実績			年度			
指標	活動指標(1)		円					20,419	19,222	33,389				
	活動指標(2)													
	成果指標(1)													
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円					54,827	42,583	62,391				
	職員数(正規   非常勤)		人	0.00	0.00	0.00	0.00	1.79	0.00	1.79	0.00	1.79	0.00	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0		0		16,241	16,241	16,241				
		非常勤職員分	千円	0		0		0	0	0				
	総事業費 + +		千円	0		0		71,068	58,824	78,632				
	単位あたりコスト ÷		円					3,480	3,060	2,355				
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0	0	0			
		国・都からの支出金		千円	0		0		0	0	0			
		その他特定財源		千円	0		0		0	78	0			
		特定財源計 + +		千円	0		0		0	78	0			
差引:一般財源 -		千円	0		0		71,068	58,746	78,632					
受益者負担比率 ÷		%					0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		平成12年度からの清掃事業の移管に伴い、新設した施設であることから、大きな支障は生じていない。しかし、使用開始後、1年が経過し、設計時に想定できなかった問題等が明らかになりつつある。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)		騒音、振動、臭気、車両交通の苦情、要望は特段ない。											
	今後の予測		建築からの年数の経過に伴い、保守経費、修繕費の増加が予想される。											

# 平成13年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃車両（ごみ収集車）の運行及び維持管理				整理番号	691		細番号					
所属部課名		環境清掃部清掃事業所		コード	230831	連絡先電話番号	3317-6771		昨年度整理番号	1050(2)				
係名 管理係				上位施策名				NO						
予算事業名 事務所・事業所維持運営				コード	56290	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				17				
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 12 年度				根拠法令等 <input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革対象事業									
	事業終期 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 平成 年度				(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例									
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区有清掃車（ごみ収集車） 33台				(2) 道路運送車両法									
					(3) 自動車損害賠償補償法 自動車重量税法									
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順） 区有清掃車（ごみ収集車）の運行 区有清掃車の点検、整備、車検、修理 区有清掃車の購入 自動車損害賠償責任保険への加入 自動車重量税の支払				活動指標名(式) (1) 延べ配車台数 (2) 低公害車の導入									
意図（対象をどのような状態にしたいのか） (1) 作業計画どおりの1日29台配車する。 (2) 故障の件数を少なくする。 (3) 平成16年度末までに、低公害の車両に更新する。				成果指標名(式) (1) 配車率 配車台数 ÷ 計画台数 (2) 低公害車化率 低公害車台数 ÷ 清掃車保有台数										
意図を実現することで、上位施策にどのように貢献していますか (1) 家庭廃棄物の収集を作業計画どおりに行うことにより、収集サービスを向上させる。 (2) 清掃車の低公害車化することにより、環境への負荷を低減させる。														
区分		単位	10年度実績		11年度実績		12年度		13年度計画		目標値	目標値に対する12年度の達成率%		
							計画	実績			16年度			
指標	活動指標(1)		台					9050	9033	9050				
	活動指標(2)		台					8	8	7		33	51.5	
	成果指標(1)		%						99.8					
	成果指標(2)		%					51.5	51.5	72.7		100	51.5	
総事業費・コスト把握	事業費		千円					108,240	90,089	96,418				
	職員数(正規・非常勤)		人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	特記事項
	人件費	職員分(超勤分含む)	千円	0		0		2,722	2,722	2,722				
		非常勤職員分	千円	0		0		0	0	0				
	総事業費 ++		千円	0		0		110,962	92,811	99,140				
	単位あたりコスト ÷		円					12,261	10,275	10,955				
	財源	受益者負担分		千円	0		0		0	0	0			
		国・都からの支出金		千円	0		0		0	0	0			
		その他特定財源		千円	0		0		0	5,792	0			
		特定財源計 ++		千円	0		0		0	5,792	0			
差引:一般財源 -		千円	0		0		110,962	87,019	99,140					
受益者負担比率 ÷		%					0.0	0.0	0.0					
事業を取り巻く環境	開始当初から現在までの変化		清掃事業の移管に伴い、平成12年度から開始された事業である。											
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)													
	今後の予測		ごみ量の減少が続いていることから、保有台数の削減が将来的には見込まれる。											